

NetUPDATE Ver.5

Operation Guidance 操作ガイドンス

本書のご使用にあたって

本操作ガイダンスは、主に初めて本製品を利用する方を対象に操作の流れに沿って、操作、入力、処理方法を説明したものです。

ご利用にあたって

ご使用製品のバージョンは、製品「ヘルプ」のバージョン情報よりご確認ください。

本書は、表紙に掲載のバージョンにより、ご説明しています。

最新バージョンでない場合もございます。ご了承ください。

本製品及び本書のご使用による貴社の金銭上の損害及び逸失利益または、第三者からのいかなる請求についても、弊社は、その責任を一切負いませんので、あらかじめご了承ください。

製品のご使用については、「使用権許諾契約書」が設けられています。

※掲載されている各社名、各社製品名は一般に各社の登録商標または商標です。

目次

5	第1章 製品概要
5	1 プログラム概要
6	2 製品更新のフローチャート
7	第2章 操作ガイダンス
7	1 NetUPDATE、NetUPDATE WANについて
7	1-1 タブ説明(NetUPDATE NetUPDATE WAN共通)
9	1-2 タブ説明(NetUPDATE WANのみ)
10	1-3 メイン画面下部
10	1-4 メニューバー
10	1-5 ツールボタン
11	1-6 環境設定
16	2 WAN対応ライセンスマネージャについて
16	2-1 メイン画面の説明
17	2-2 メニューバー
17	2-3 オプション画面
18	3 F8Detectについて
18	3-1 ポップアップメニュー
19	3-2 オプション画面
20	4 ログ解析ツールについて
20	4-1 NetUPDTAE、NetUPDATE WANの場合
21	4-2 WAN対応ライセンスマネージャの場合
21	5 プロキシを経由する場合の通信設定
21	5-1 NetUPDATE、NetUPDATE WANの場合
22	5-2 F8detectの場合
23	6 インストール済製品の更新
23	6-1 インターネット経由でFORUM8サーバから更新ファイルを取得する方法
26	6-2 社内に更新ファイルサーバを設置し、取得する方法
30	7 リモートマシンの製品状況
31	7-1 環境構築
32	7-2 製品の起動状況の確認
32	8 WAN上の製品状況
33	8-1 環境設定
35	8-2 製品起動状況の確認
37	第3章 Q&A
37	1 適用範囲
37	2 操作及び対策
41	3 表示、メッセージ
43	4 その他

第1章 製品概要

1 プログラム概要

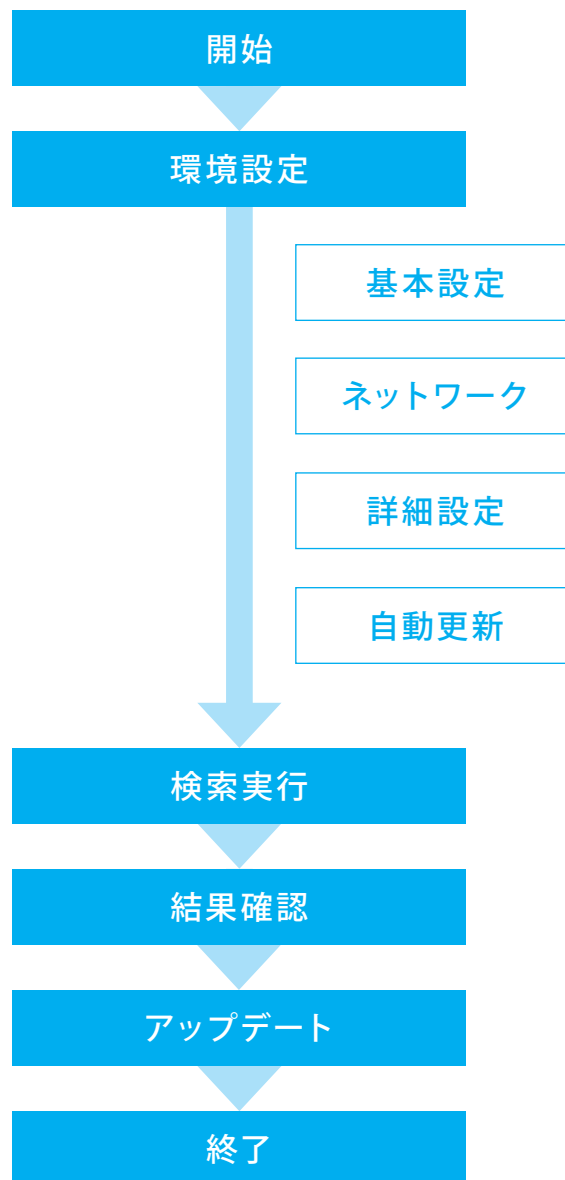
概要

「NetUPDATE」はフォーラムエイト製品のアップデート及びライセンス管理を支援するプログラムです。

特長

ユーザー様のPCにインストールされている製品を自動的に抽出し、インターネット経由で最新の情報とバージョンを供給します。インターネット環境が整っていないユーザー様には、弊社の発行するCD-ROMを利用してアップデートを行うことも出来ます。また、常駐時に曜日や日時を指定することにより、完全に自動で指定時間に製品をアップデートすることが可能です。
(一部の製品を除く)

2 製品更新のフローチャート



第2章 操作ガイド

1 NetUPDATE、NetUPDATE WANについて

1-1 タブ説明(NetUPDATE NetUPDATE WAN共通)

各入力項目の詳細については製品の【ヘルプ】をご覧ください。

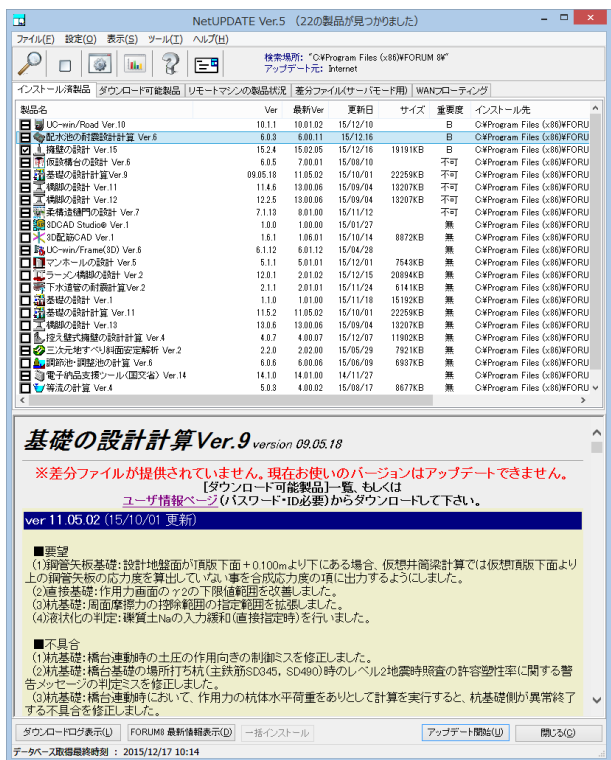


操作ガイドスムービー

Youtubeへ操作手順を掲載しております。

NetUPDATE

操作ガイドスムービー(02:55)



インストール済製品

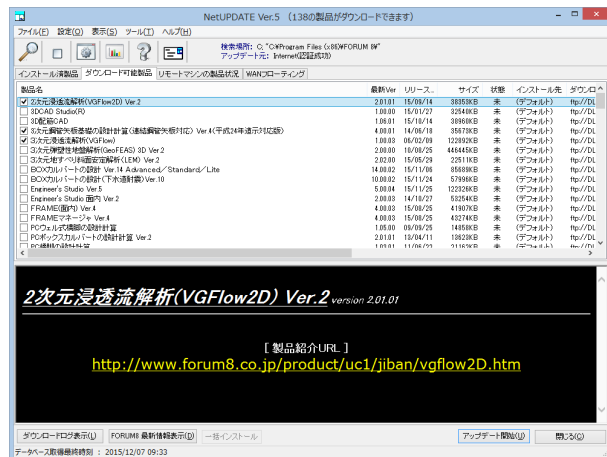
検索が終わると、インストールされている弊社の製品が上方ウィンドウにリストアップされます。

製品名	現在お使いの製品の名前です。
Ver	現在お使いの製品のバージョンです。
最新Ver	現在お使いの製品の最新バージョンです。
更新日	最新のバージョンアップが行われた日です。
サイズ	ダウンロード対象ファイルのファイルサイズです。
重要度	詳細は以下の表に示します
インストール先	現在お使いの製品のインストール先を示します。

チェ ック ボ ッ ク ス	☐	空欄	更新の必要の無い製品はチェックが入りません。この製品のアップデートは行われません。
	☒	チェック済み	更新する必要がある製品はデフォルトでチェックが入ります。製品のアップデートが行われます。
	☐	グレーマーク	更新したくない製品は、チェックボックスを灰色にすることにより、手動で変更しない限りアップデートを行わないようにすることが出来ます。
	☐	チェック不可	更新できない製品です。最新版にこのマークが表示されることがありますが、問題ありません。製品をクリックして内容をお確かめください。

重 要 度	A (重要度、高)	現在の最新のバージョンに、緊急性の高い重要な更新があったことを示します。
	B (重要度、中)	現在の最新バージョンに、一般的な更新があったことを示します。
	C (重要度、低)	現在の最新のバージョンに、軽微な修正の更新があったことを示します。
	不可 (更新不可)	現在お使いのバージョンは更新が不可能なことを示します。詳細は更新履歴をご覧ください。
	無 (更新不要)	お使いのバージョンが最新であるため、現時点では更新の必要が無いことを示します。

第2章 操作ガイドンス



ダウンロード可能製品

現在ダウンロードが可能な弊社製品が上部ウィンドウにリストアップされます。

ダウンロード先が(デフォルト)となっているものに関しては、製品が未インストールであるため、設定の拡張機能で決めたインストール先に製品がインストールされます。
すでにインストールされている製品に関しては、現在インストールされている場所にインストールされます。
※いずれも設定で「解凍後、自動インストールする」にチェックが入っている場合のみ

UC-win/Roadなどファイルサイズが約2GBを超える製品のインストールに対応しておりません。

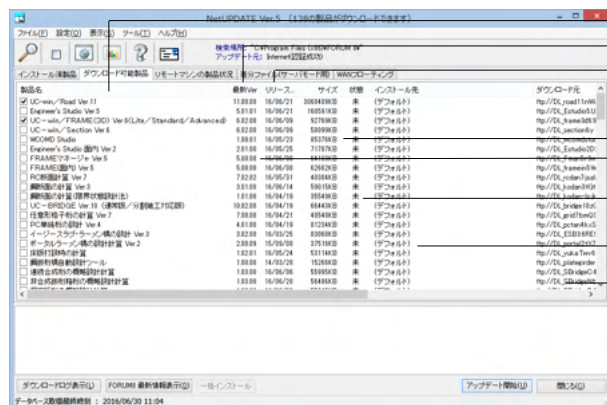
(Q2-10参照)

<https://www.forum8.co.jp/faq/netupdate.htm#q2-10>

NetUPDATEでインストールを行う製品は原則32bit版となります。

(Q3-5参照)

<https://www.forum8.co.jp/faq/netupdate.htm#q3-5>

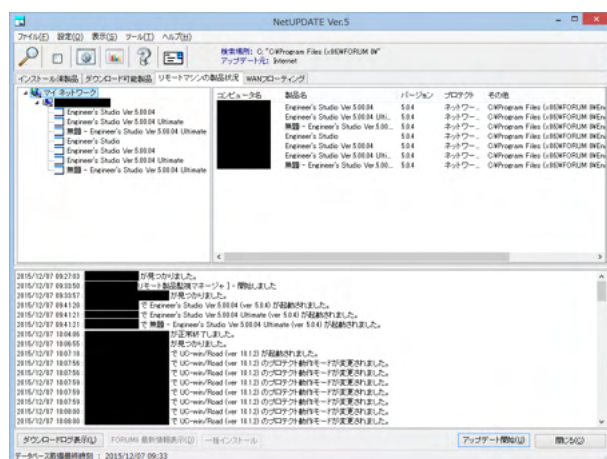


製品名	現在お使いの製品の名前です。
最新Ver	現在お使いの製品の最新バージョンです。
リリース日	最新版製品がリリースされた日時です。
サイズ	ダウンロード対象ファイルのファイルサイズです。
状態	未：インストールされていません。 済：インストール済みです。
インストール先	現在お使いの製品のインストール先を示します。
ダウンロード元	製品ファイルのダウンロード元を表示します。

※新しく製品インストールを行った場合は必ず手動で再検索を行うようにしてください

(Q3-1参照)

<https://www.forum8.co.jp/faq/netupdate.htm#q3-1>

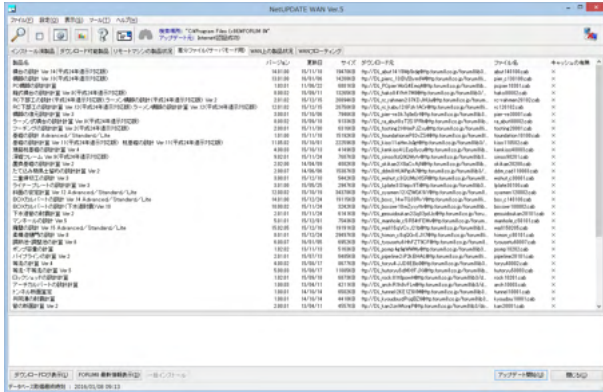


リモートマシンの製品状況

同一ネットワーク上にあるマシンで弊社製品が稼動していた場合、リストアップされます。

この機能を利用するには、ネットワーク上のマシン毎にF8DETECTを起動している必要があります。

F8DETECTはNetUPDATE、NetUPDATE WANに含まれていますので、監視対象とするマシンにはNetUPDATEをインストールしておいてください。



差分ファイル (サーバモード用)

NetUPDATEがサーバモードに設定されている場合、差分アップデートできるファイルの一覧が表示されます。

製品名	現在稼働している製品の名前が表示されます。
バージョン	製品のバージョンが表示されます。
更新日	製品の最終更新日が表示されます。
サイズ	製品のサイズが表示されます。
ダウンロード元	ダウンロード元のファイル名が表示されます。
ファイル名	製品が保存されているファイル名が表示されます。
キャッシュの有無	差分ファイルを取得済みの場合は○が表示されます。

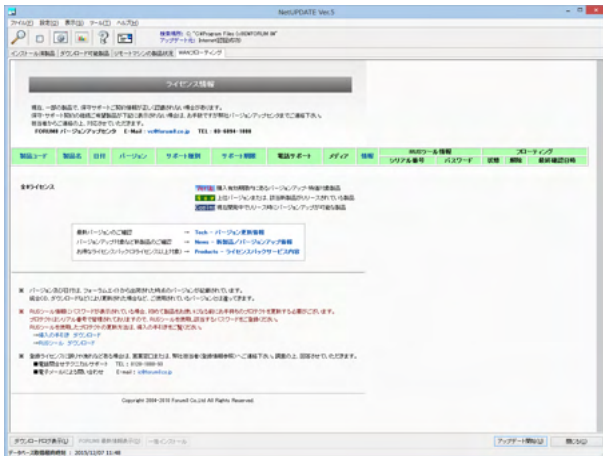
※エラーメッセージ

「差分ファイルが異常です。この製品は更新に失敗しました。」

(CRCエラー)

(Q3-2参照)

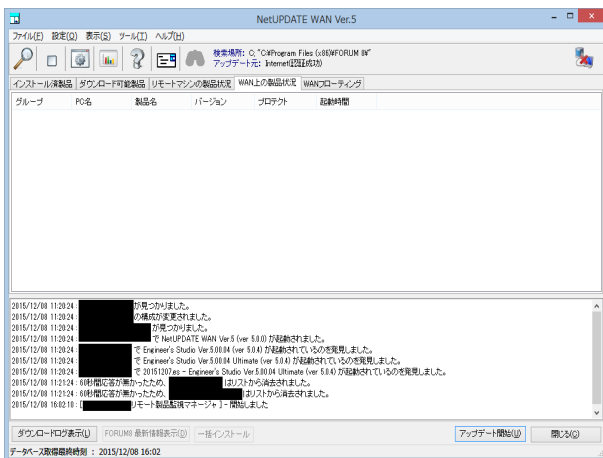
<https://www.forum8.co.jp/faq/netupdate.htm#q3-2>



WANフローティング

WANアクティベートライセンスの契約状況を確認することができます。

1-2 タブ説明(NetUPDATE WANのみ)



WAN上の製品状況

WAN上にあるマシンで弊社製品が稼働していた場合、リストアップされます。各項目名をクリックすることで、項目ごとソートが行えます。

この機能を利用するには、弊社製品を検出させたいマシンで、あらかじめF8detectが起動していること、またWAN上にWANマネージャが起動しており、オンライン状態になっていることが必要となります。この機能を利用するためのWANマネージャの設定方法は、別頁8 WAN上の製品状況を参考にしてください。

グループ	製品が稼働しているマシンが所属しているグループの名前です。
PC名<ユーザ名>	製品が稼働しているマシンの名前、及びログインユーザ名です。
製品名	現在、稼働している製品の名前です。
バージョン	現在、稼働している製品のバージョンです。(製品により、表記が多少異なる場合があります)。
プロテクト	現在、稼働している製品のキーの種類です。
起動時間	現在、稼働している製品が起動した時間です。

1-3 メイン画面下部

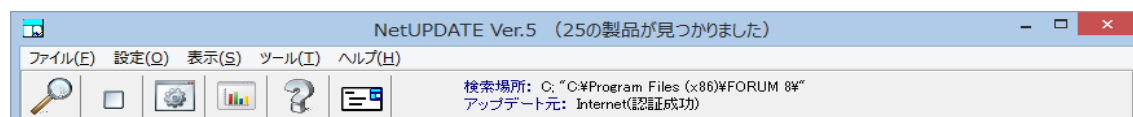
ダウンロードログ表示(L)	FORUM8 最新情報表示(D)	一括インストール	アップデート開始(U)	閉じる(C)
データベース取得最終時刻 : 2015/12/07 11:48				
ダウンロードログ表示	これまでのダウンロード履歴を表示します。			
FORUM8 最新情報表示	製品のリリース状況やQ&Aの更新など、FORUM8の最新情報を別ウィンドウで表示します。			
一括インストール	フォーラムエイト製品インストールツールを起動します。統合CD-ROMから製品をまとめてインストールすることができます。このボタンはアップデート元がローカルドライブの時のみ機能します。			
アップデート開始	入力された設定情報を元に、アップデートを開始します			
閉じる	ウィンドウを閉じたり、ダウンロードを強制的に中止させるのに使用します。常駐が行われている場合はアイコン化し、行われていない場合はプログラムを終了します。			

1-4 メニューバー

ファイル(E)	設定(Q)	表示(S)	ツール(I)	ヘルプ(H)
---------	-------	-------	--------	--------

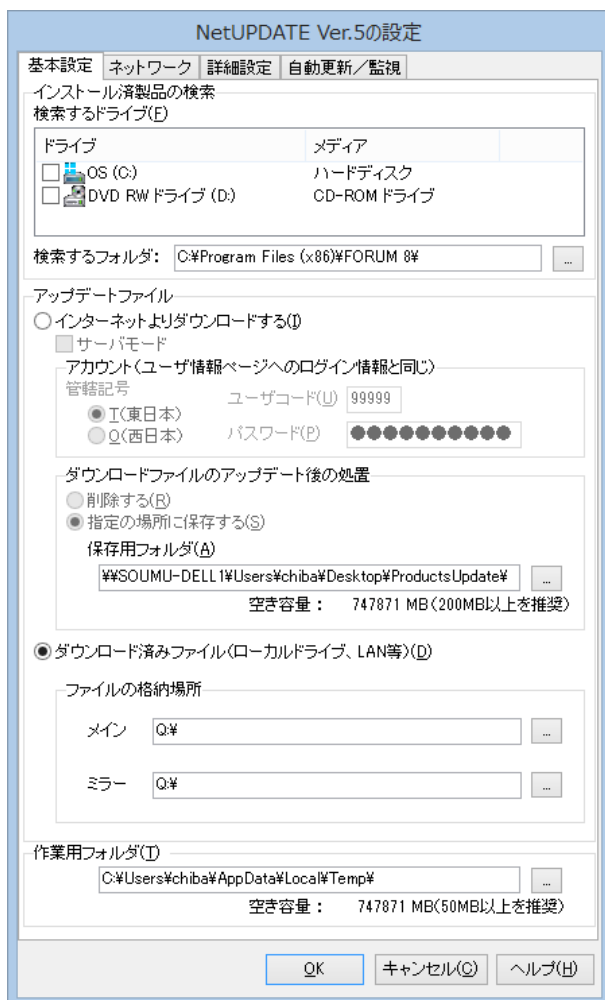
	コマンド	説明
ファイル	ファイルの再検索	設定で指定されたドライブに対し、弊社製品がインストールされているかどうか再検索を行います。
	チェックを全て外す	ダウンロード不可のものを除き、製品についてのチェックを一時的に全て外します。
	ダウンロードログ表示	更新およびダウンロードのログファイルを表示します。
	初期画面	初期画面を表示します。
	アップデート開始	製品の更新要求を開始します。
設定	終了	常駐が行われているか否かに関係なく、全ての処理を中止してプログラムを終了します。
	環境設定	設定ダイアログを呼び出し、環境の設定を行います。
表示	サーバ接続	NetUPDATE WANとWAN対応ライセンスマネージャを接続します。(NetUPDATE WANのみ)
	インストール済製品	インストール済製品の画面を表示します。
	ダウンロード可能製品	ダウンロード可能製品の画面を表示します。
	起動中の製品	起動中の製品の画面を表示します。
	リモートマシンの製品状況	リモートマシンの製品状況の画面を表示します。
	差分ファイル(サーバモード用)	差分ファイル(サーバモード用)の画面を表示します。
	WANフローティング	WANライセンス情報を表示します。
	ツールボタンを表示する	ツールボタンの表示・非表示を行います。
ツール	WAN上の製品状況の更新	WAN上で検出された製品の起動状況を表示します。
	ログ解析ツール	[リモートマシンの製品状況]タブに取得された、同一ネットワーク上のFORUM8製品の利用状況を解析します。
ヘルプ	目次	このヘルプを表示します。
	NetUPDATEのインストール先を開く	NetUPDATEのインストール先ディレクトリを開きます。
	FORUM8ホームページ	弊社のホームページを見ることが出来ます。
	Internet利用による問い合わせ	問い合わせ支援ツールを用いることで簡単に弊社への問い合わせが行えます。
	バージョン情報	このプログラムのバージョンを表示します。

1-5 ツールボタン



	ファイルの再検索	設定で指定されたドライブに対し、弊社製品がインストールされているかどうか再検索を行います。※新しく製品をインストールした場合は必ず手動で再検索を行うようにして下さい。
	チェックを全て外す	ダウンロード不可のものを除き、製品についてのチェックを全て外します。
	環境設定	設定ダイアログを呼び出し、環境の設定を行います。
	ログ解析	ログ解析画面を表示します。
	ヘルプ	ヘルプを表示します。
	Internet利用による問い合わせ	問い合わせ支援ツールを用いることで簡単に弊社への問い合わせが行えます。

1-6 環境設定



NetUPDATE Ver.5.0の設定

基本設定 | ネットワーク | 詳細設定 | 自動更新/監視

インストール済製品の検索

検索するドライブ(E)

ドライブ	メディア
☐ OS (C:)	ハードディスク
☐ DVD RW ドライブ (D:)	CD-ROM ドライブ

検索するフォルダ: C:\Program Files (x86)\FORUM 8\ ...

アップデートファイル

☐ インターネットよりダウンロードする(I)

☐ サーバモード

アカウント(ユーザ情報ページへのログイン情報と同じ)

管轄記号 ユーザコード(U) 99999

☒ I(東日本) ☐ Q(西日本) パスワード(P) ●●●●●●●●●●

ダウンロードファイルのアップデート後の処置

☐ 削除する(R)

☒ 指定の場所に保存する(S)

保存用フォルダ(A)

\\SOUUMU-DELL1\Users\chiba\Desktop\ProductsUpdate\ ...

空き容量: 747871 MB(200MB以上を推奨)

☒ ダウンロード済みファイル(ローカルドライブ、LAN等)(D)

ファイルの格納場所

メイン Q:\ ...

ミラー Q:\ ...

作業用フォルダ(I)

C:\Users\chiba\AppData\Local\Temp\ ...

空き容量: 747871 MB(50MB以上を推奨)

OK キャンセル(C) ヘルプ(H)

基本設定

ファイルの検索場所、更新ファイルの取得方法、アカウント等の設定を行います。

■インストール済製品の検索

検索するドライブ、検索するフォルダ

指定されたドライブ、またはフォルダから製品を検索します。製品のインストールされているドライブ(複数可)にチェックを入れるか、製品のインストールされているフォルダを指定して下さい。

※Cドライブ等にチェックを入れて検索を行うと非常に時間がかかるので、「検索するフォルダ」にて製品インストールフォルダを指定することをお勧めします。

(Q2-14参照)

<https://www.forum8.co.jp/faq/netupdate.htm#q2-14>

■アップデートファイル

アップデートをインターネットからアップデートファイルを取得して行うか、既にダウンロード済みアップデートファイルを用いて行うかを指定します。

インターネットよりダウンロードする

「アカウント」および「ダウンロードファイルのアップデート後の処置」を設定してください。

サーバモード

ローカルサーバとして使う場合にチェックします。

アカウント

認証のための、「管轄記号」、「ユーザコード」、「パスワード」を設定してください。弊社ホームページのユーザ情報ページへログインする際に用いるものと同じものです。

(Q2-1参照)

<https://www.forum8.co.jp/faq/netupdate.htm#q2-1>

■ダウンロードファイルのアップデート後の処置

ダウンロードしたファイルをアップデート終了後、「削除する」か、「指定の場所に保存する」かを指定します。削除した場合も更新情報ファイルは「保存用フォルダ」に保存されますので、「保存用フォルダ」の設定は必須です。

■ダウンロード済みファイル(ローカルドライブ、LAN等)

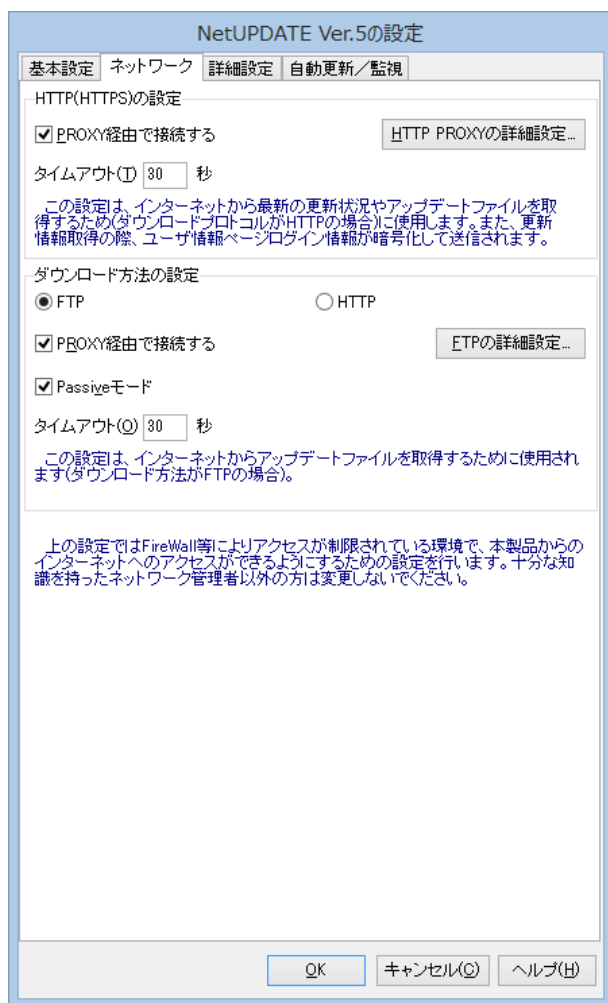
アップデートファイルが格納された場所を「ファイルの格納場所」に設定してください。フォルダがデフォルト値の際は、共有フォルダを検索するウィザードが出て、完了すると検索したフォルダが設定されます。

ファイルの格納場所

アップデートファイルが格納された場所のパスを記入・選択して下さい。※「インターネットよりダウンロードする」を指定した場合、PCはインターネットに接続されている必要があります。

■作業用フォルダ

ダウンロードしたファイルを保存したり、製品更新時に一時的にだけ使用するフォルダを指定してください。



ネットワーク

通信プロトコルに関する設定を行います。

■HTTP(HTTPS)の設定

HTTP/HTTPSにより認証および更新情報ファイルを取得するとき、PROXY経由で弊社サーバに接続します。

PROXY経由で接続する

HTTPでプロキシを経由する場合にチェックを入れます。

HTTP PROXYの詳細設定

PROXYのホスト名等を設定するダイアログを開きます。

タイムアウト

HTTP/HTTPSの通信時、ホストから指定時間以上反応がなかった場合に処理を中止させます。

■ダウンロード方法の設定

FTP

FTPによりアップデートファイルを取得します。

HTTP

HTTPによりアップデートファイルを取得します。

FTPでのダウンロードが制限されている場合にこちらの設定で動作させることが出来ないかご確認ください。

PROXY経由で接続する

FTPでプロキシを経由する場合にチェックを入れます。

FTPの詳細設定

PROXYのホスト名等のほか、ファイアーウォールやPROXYごとの特殊処理など、詳細な設定を行うことが出来ます。

Passiveモード

PROXYサーバやルータがPassiveモードに対応している場合はチェックを入れて下さい。

タイムアウト

FTPの通信時、ホストから指定時間以上反応がなかった場合に処理を中止させます。

■アップデートファイルのダウンロードプロトコル

本設定は、製品の全体の更新情報、各製品ごとの更新履歴情報、製品・差分ファイルの取得処理に影響します。

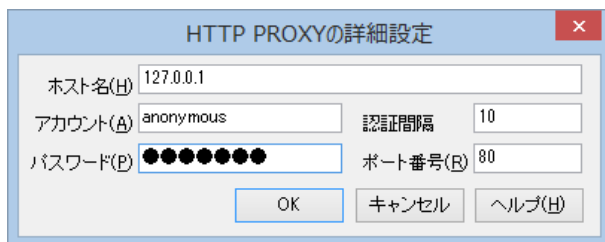
FTP

FTPによりアップデートファイルを取得します。

HTTP

HTTPによりアップデートファイルを取得します。

FTPでのダウンロードが制限されている場合にこちらの設定で動作させることが出来ないかご確認ください。



HTTP PROXYの詳細設定

HTTP(HTTPS)によるインターネットへの接続をPROXY経由で行うときのPROXYに関して設定します。

ホスト名

適切なPROXYサーバのアドレスを記入します。

アカウント

ログインが必要なPROXYサーバの場合、適切なユーザーアカウント (FwUser) を記入して下さい。

パスワード

ログインが必要なPROXYサーバの場合、適切なユーザーパスワード (FwPass) を記入して下さい。

ポート

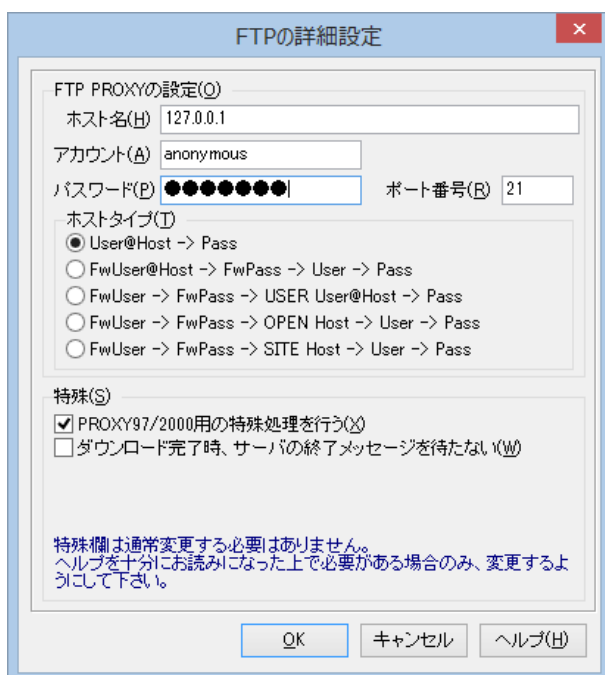
PROXYサーバのポート番号を記入します。

認証間隔

PROXYサーバへの認証作業の実行間隔を指定します。

認証がうまく通らない場合に変更してください。

単位は秒です。



FTPの詳細設定

■FTP PROXYの設定

ホストタイプ

適切なFTP PROXYのホストタイプを選んで下さい。

■特殊

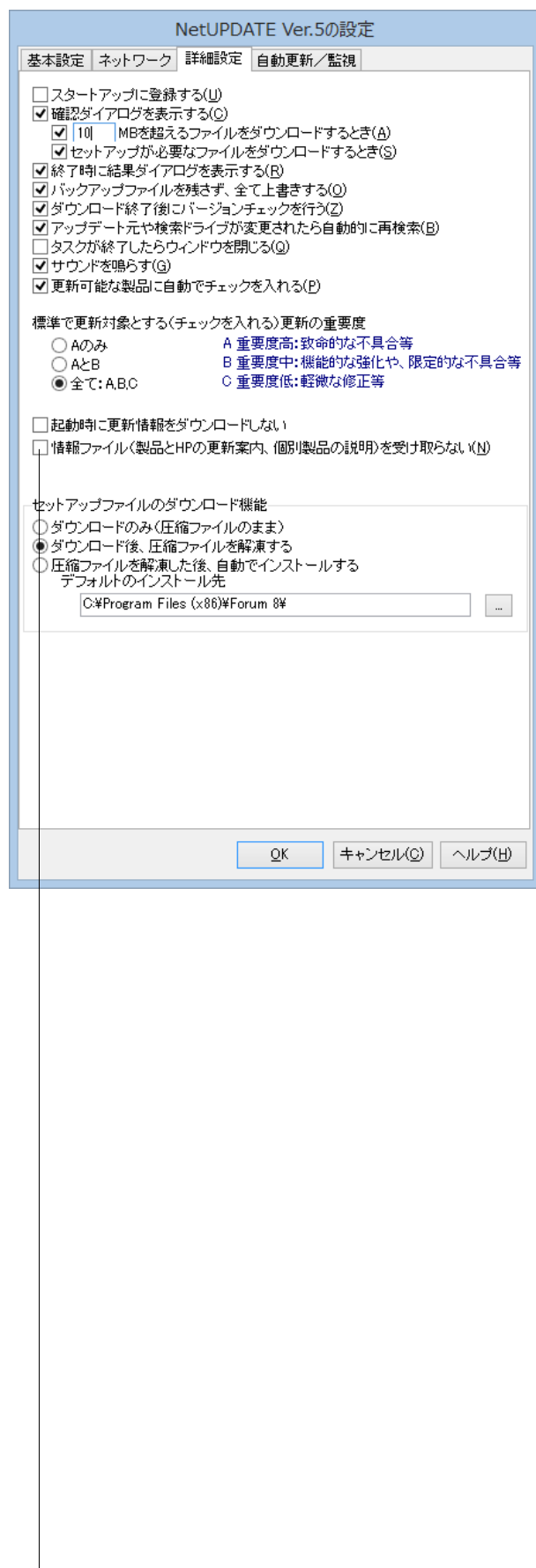
※以下の欄は、通常使用している状態で問題の無い場合は絶対に変更しないでください。

PROXY97/2000用の特殊処理を行う

PROXYサーバでは、希にコネクションが不安定になる現象が確認されています。PROXYを使っていて動作が不安定な場合は、チェックを入れて下さい。

ダウンロード完了時、サーバの終了メッセージを待たない

一部のPROXY及びルータでは、データ転送終了時にサーバからの終了メッセージを受け取れずにダウンロードに失敗することがあります。サーバの終了メッセージを待たずにダウンロードが成功したと見なすことができます。



詳細設定

製品更新、起動時の動作等に関する設定を行います

スタートアップに登録する

Windows起動時にNetUPDATEが実行されます。

確認ダイアログを表示する

指定されたサイズを超えるファイルをダウンロードしようとした場合や、セットアップが必要なファイルをダウンロードしようとした場合に、ユーザーに確認を求めることができます。

終了時に結果ダイアログを表示する

検索時、更新時にダイアログを表示させます。

バックアップファイルを残さず、全て上書きする

デフォルトでは製品の更新時に以前のバージョンにそのまま上書きします。チェックを外すと「.bak」という拡張子を付けて保存ようになります。

ダウンロード終了後にバージョンチェックを行う

バージョンを正常に取得できなかったファイルは、ダウンロード後もチェックがついたままの可能性がありますが、チェックを外すとアップデート終了後にバージョンチェックを行わず、全てのチェックを外すようになります。

アップデート元や検索するドライブが変更されたら自動的に再検索

設定でアップデート元や検索するドライブが変更された場合、設定ダイアログを閉じると同時に製品の再検索を行うことができます。

タスクが終了したら自動的にウィンドウを閉じる

アップデートが終了すると同時に、プログラムを終了します。

サウンドを鳴らす

プログラムからのメッセージがあった場合、Windows標準のメッセージ音を鳴らします。

更新可能な製品に自動でチェックを入れる

検索時にインストール済み製品の新バージョンがリリースされている場合、自動的にチェックを入れます。

標準で更新対象とする（チェックを入れる）更新の重要度

メイン画面に表示される更新重要度が、どの程度高ければチェックを入れるかを指定できます。

起動時に更新情報をダウンロードしない

NetUPDATEの起動時にデータベースの取得を行わず、前回取得したデータベースで起動します。タイトルバーには「オフライン作業」と表示され、NetUPDATEの機能はダウンロード関係を中心に大幅に制限されます。

情報ファイル（製品とHPの更新案内、個別製品の説明）を受け取らない

画面下に表示される各種情報を取得しなくなります。取得されなくなる情報は、初期状態で表示される製品およびHPの更新情報、および、個々の製品の更新情報です。

セットアップファイルのダウンロード機能

製品ファイルの取得のみを行う場合は「ダウンロードのみ」、「ダウンロード後、圧縮ファイルを解凍する」を選択してください。インストールまで行う場合は「圧縮ファイルを解凍した後、自動でインストールする」を選択し、「デフォルトのインストール先」に製品のインストール先を指定してください。

オフライン作業

使用状況のみを確認したい場合、起動時間が短縮されます。(Q2-6参照)

<https://www.forum8.co.jp/faq/netupdate.htm#q2-6>

NetUPDATE Ver.5の設定

基本設定 ネットワーク 詳細設定 自動更新／監視

☒ 常駐を行う(I)
☐ 常駐時は途中経過を表示しない(N)
☐ 起動時に最小化(M)

自動更新機能(A)
☒ 自動更新機能を使用する(U)
 チェックの周期
☐ 毎月 ☒ 毎週 ☐ 毎日
 日 月 曜 時 分

自動更新機能によるアップデート時は、[詳細設定]タブの[確認ダイアログを表示する]以下にチェックが入っている場合、[確認ダイアログ]が表示される条件に該当するアップデートはスキップされます。

このコンピュータでの製品起動監視機能
☒ 弊社製品が起動しているかどうか監視する
☐ 新バージョンが見つかった場合、メッセージを出す
 監視間隔 秒

ネットワーク上での製品利用状況監視機能
☒ リモートマシンの製品状況のログを出力する
 出力先 ...
☒ 解析用ログを出力する
 出力先 ...
☒ NetUPDATE起動時にF8detectを起動しない
☐ F8detectをスタートアップに登録する

OK キャンセル(Q) ヘルプ(H)

自動更新／監視

製品の自動更新及び起動状況の監視機能に関する設定を行います。

■常駐を行う

常駐を行うことにより、少ないリソースで自動的に更新を監視・実行することが可能です。常駐モードでは「閉じる」ボタンで本製品が終了せず、タスクトレイにアイコン化して納まります。

常駐時は途中経過を表示しない

ダウンロードなどの途中経過を一切表示しません。

起動時に最小化

起動直後にアイコントレイに収めることができます。

■自動更新機能

タイマー機能を使用した自動更新機能の設定を行います。

自動更新機能を使用する

タイマー機能を使って指定した時間に自動的にアップデート要求を行うことができます。

チェックの周期

アップデート要求を行う日時を指定します。日付および曜日は複数の条件を指定可能です。日中はダウンロードサイトが大変込み合いますので、深夜に実行させることをお勧めします。

■このコンピュータでの製品起動監視機能

弊社製品が起動しているかどうか監視する

「監視間隔」に応じて弊社製品が起動されたかどうか、監視することが出来ます。

新バージョンが見つかった場合、メッセージを出す

起動中の弊社製品よりも新しいバージョンがリリースされていた場合、メッセージダイアログを表示します。

監視間隔

弊社製品が起動しているかどうかのチェックを行う間隔を秒単位で指定します(1秒～999秒)。余程CPUパワーに余裕がある場合以外、あまり小さな値にすることは推奨できません。

■ネットワーク上での製品利用状況監視機能

ネットワーク上のPCでの製品利用状況監視機能に関する設定を行います。※本機能を利用するためには、監視対象とするPCでF8DETECTが常駐している必要があります。

リモート製品の起動状態のログを出力する

「出力先」で指定した場所に「リモート製品の起動状態」タブのログファイルを「F8Remote.log」という名前で出力します。

解析用ログを出力する

「出力先」で指定した場所にログ解析に必要なファイルが出力されます。

F8DETECTを起動しない

本製品起動時のF8DETECT起動を抑制します。

F8DETECTをスタートアップに登録する

F8DETECTがスタートアップメニューに登録され、Windows起動時及びNetUPDATEが起動時にF8DETECTが自動的に起動するようになります。チェックを外すと、スタートメニューから登録が削除されます。

NetUPDATE WAN Ver.5の設定

基本設定 ネットワーク 詳細設定 自動更新/監視 WANマネージャ設定

WAN対応ライセンスマネージャ通信設定

メイン

IPアドレス

ポート番号

ミラー

IPアドレス

ポート番号

☐ プログラム起動時に、WANライセンスマネージャに自動的に接続する。

自動更新機能

☒ 自動更新機能を有効にする

更新間隔 秒

OK キャンセル(Q) ヘルプ(H)

WANマネージャ設定

※この機能はNetUPDATE WAN 専用です。

WAN対応ライセンスマネージャへ接続を行うときの通信設定を行います。

■WAN対応ライセンスマネージャ通信設定

IPアドレス

WAN対応ライセンスマネージャが稼動しているマシンのIPアドレスを設定します。

ポート番号

WAN対応ライセンスマネージャと通信するためのポート番号を設定します。

※WAN対応ライセンスマネージャ接続時に、メイン、ミラーのIPアドレス、ポート番号に自動的に接続を試みます。

プログラム起動時に、WANライセンスマネージャに自動的に接続する

チェックボックスをオンにすると、NetUPDATE起動時に自動的にWAN対応ライセンスマネージャに接続します。

自動更新機能を有効にする

入力された更新間隔でWAN上の製品情報を更新します。

2 WAN対応ライセンスマネージャについて

2-1 メイン画面の説明

WAN対応ライセンスマネージャ

グループ	PC名	製品名	バージョン	プロテクト	起動時間
FBOSAKA		Engineer's Studio	5.0.6	ネットワーク	16:04:18
FBOSAKA		Engineer's Studio Ver. 5.00.06	5.0.6	ネットワーク	16:04:18
FBOSAKA		Engineer's Studio Ver. 5.00.06 Ultimate	5.0.6	ネットワーク	16:04:18
FBOSAKA		無題 - Engineer's Studio Ver. 5.00.0...	5.0.6	ネットワーク	16:04:18

ライセンス状況

接続履歴

接続日時	接続先
16:03:57	
16:04:01	
16:04:17	

コマンド履歴

グループ	PC名	製品名	バージョン	プロテクト	コマンド	クライアントユーザー名
Online	PC台数: 1	接続数: 1	通信回数: 20	更新時刻: 16:07:50		

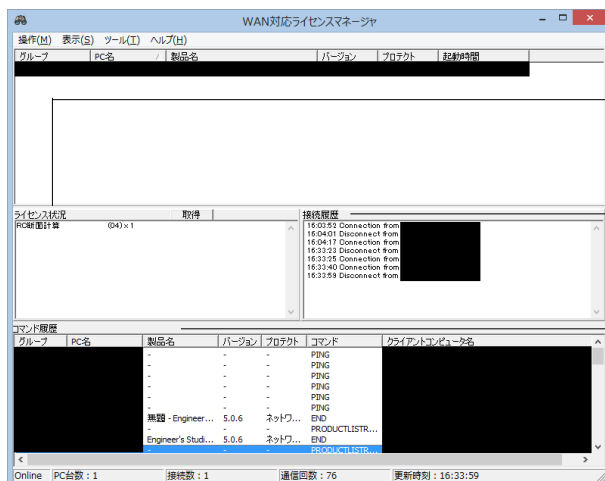
製品起動状況

WAN上にあるマシンで弊社製品が稼動していた場合、リストアップされます。各項目名をクリックすることで、項目ごとにソートが行えます。

この機能を利用するには、弊社製品を検出させたいマシンで、あらかじめF8detectが起動していること、またWAN上にWANマネージャが起動しており、オンライン状態になっていることが必要となります。

この機能を利用するためのNetUPDATE及びWANマネージャの設定方法は、別頁8 WAN上の製品状況を参考にしてください。

グループ	製品を起動したPCの所属グループ
PC名	PC名
製品名	起動したFORUM8製品名
バージョン	製品バージョン
プロテクト	ライセンス認証に使用したプロテクトの種類
起動時間	製品を起動した時間



ライセンス状況

各製品のライセンスが書き込まれたNetProキー、MultiProキーをPCに接続した状態で「取得」を押すと、キーに書き込まれているライセンス情報が確認できます。

接続履歴

WAN対応ライセンスマネージャに接続したPC、切断したPCの履歴を確認出来ます。

コマンド履歴

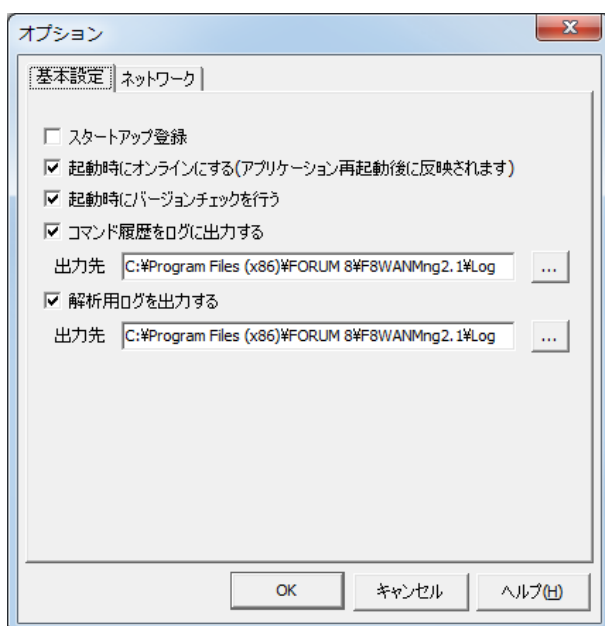
NetUPDATE WANから送信される接続、切断時、製品起動時等のコマンドを確認することが出来ます。

2-2 メニューバー

操作(M) 表示(S) ツール(I) ヘルプ(H)

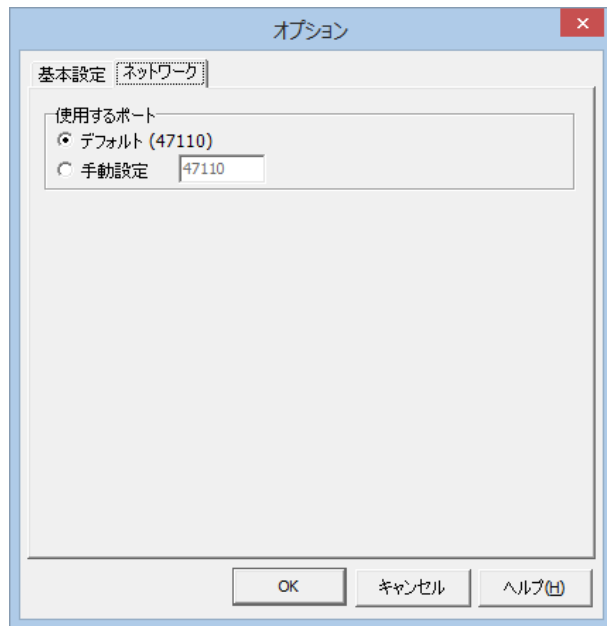
コマンド			説明
操作	オンライン		NetUPDATE WANがWAN対応ライセンスマネージャと通信できるようにします。
	オフライン		NetUPDATE WANからの通信を受信しないようにします。
	エクスポート	現在の製品状況	製品の起動状況をログファイルに出力します。
		製品状況の履歴	製品の起動、終了履歴をログファイルに出力します。
	終了		WAN対応ライセンスマネージャを終了します。
表示	ソート		製品起動状況の表示内容を「グループ」「PC名」「製品名」「バージョン」「プロテクト」「起動時間」で並び替えます。
	ライセンス状況		「取得」を押したときと同じです。
ツール	アプリケーション監査		接続されているPCにインストールされているプログラムの一覧を取得します。
	製品用ネットワーク設定ファイルの生成		FORUM8製品がNetProキー、MultiProキーにアクセスするための設定ファイルを作成する。
	オプション		オプション画面を開きます。
	ログ解析ツール		製品ごとの記録回数等の情報をグラフで確認できます。
ヘルプ	目次		このヘルプを表示します。
	FORUM8ホームページ		弊社のホームページを見ることが出来ます。
	Internet利用による問い合わせ		問い合わせ支援ツールを用いることで簡単に弊社への問い合わせが行えます。
	バージョン情報		このプログラムのバージョンを表示します。

2-3 オプション画面



基本設定

スタートアップ登録	スタートアップ登録への登録、解除を行うことが出来ます。
起動時にオンラインにする	起動直後にオンラインにすることが出来ます。※プログラムの再起動後が必要。
起動時にバージョンチェックを行う	起動直後にWAN対応ライセンスマネージャのバージョンをチェックすることが出来ます。また、バージョンが更新されていたらアップデートを行うことが出来ます。
コマンド履歴をログに出力する	コマンド履歴をログに出力することが出来ます。ログは日付ごとに自動で出力されます。
解析用ログを出力する	ログ解析機能で使用するログファイルを出力します。出力先には解析に必要なログファイルが出力されます。
出力先	ログの出力先フォルダを設定できます。

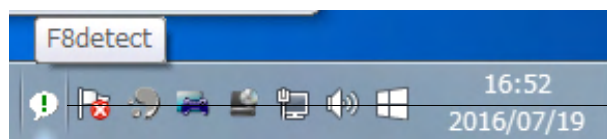


ネットワーク

デフォルト	デフォルトのポート番号を使用します。
手動設定	任意のポート番号を使用することが出来ます。この際、通信するNetUPDATEでも同じポート番号を設定してください。

3 F8Detectについて

3-1 ポップアップメニュー



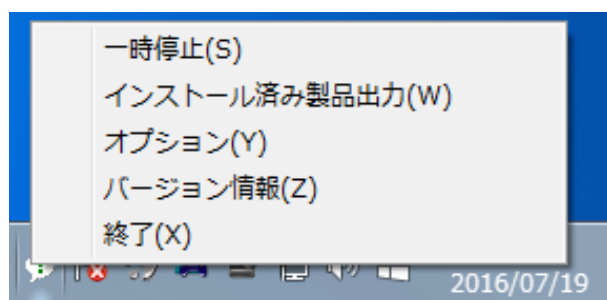
右クリックで表示されるメニュー

F8detectが起動しているマシン上でFORUM8製品が起動された場合、NetUPDATEにその旨を通知するプログラムです。

F8detectはタスクトレイ上に、常駐します。

(Q4-5参照)

<https://www.forum8.co.jp/faq/netupdate.htm#q4-5>



タスクトレイ上のアイコンを右クリックすることでポップアップメニューを表示することが出来ます。

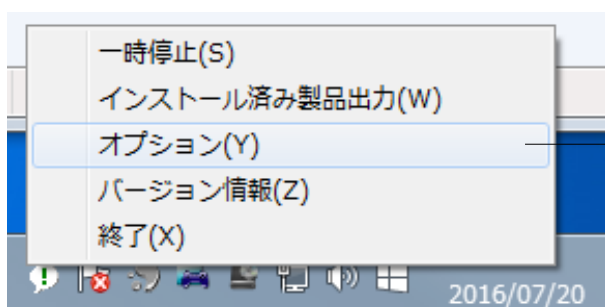
一時停止/開始	F8detectの動作を停止します。停止するとメニューは「開始」に変わります
インストール済み製品出力	インストールされている製品の一覧をCSVファイルに出力します
オプション	F8detectのオプション画面を開きます。
バージョン情報	F8detectのバージョン情報ダイアログを表示します。
終了	F8detectを終了します。



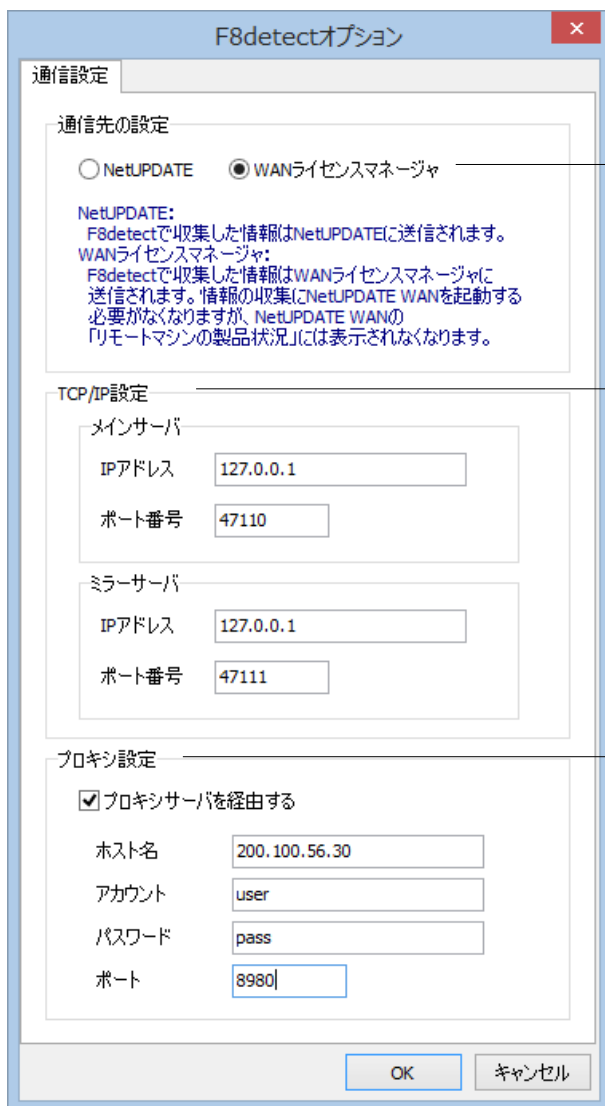
左クリックで表示されるメニュー

オプション画面で選択する通信先に情報を送信する間隔を設定します。

3-2 オプション画面



タスクバーの通知領域からF8Detectアイコンを選択し、ポップアップメニューの「オプション」を選択します。



通信先の設定

「WANライセンスマネージャ」を選択します。

TCP/IP設定

メインサーバ、ミラーサーバにWAN対応ライセンスマネージャの設置されているサーバIPアドレス、ポート番号を指定します。

IPアドレスとポート番号は2箇所まで指定でき、メインサーバに接続できない場合は自動的にミラーサーバに接続されます。

プロキシ設定

「プロキシサーバを経由する」をオンにして、プロキシサーバのホスト名(IPアドレス)、アカウント、パスワード、ポートを指定します。

4 ログ解析ツールについて

「リモートマシンの製品状況」タブに取得された、同一ネットワーク上のFORUM8製品の利用状況を解析します。
この機能をお使い頂くためには、FORUM8製品を使用するPCでF8detectが起動している必要があります。こちらの設定を行い、「リモートマシンの製品状況」タブに製品起動情報が取得できていることを確認した後、以下の手順を行って下さい。

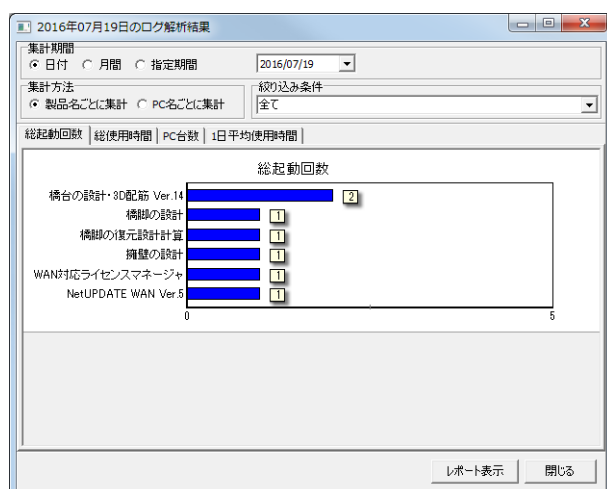
※NetUPDATEではWAN上の製品利用状況を解析することはできません。WAN上の製品利用状況を解析する場合は、WAN対応ライセンスマネージャをお使い下さい。

4-1 NetUPDTAE、NetUPDATE WANの場合

■使用方法

「自動更新/監視」タブの「解析用ログを出力する」を選択します。出力先には解析に必要なログデータが出力されます。

4-2 WAN対応ライセンスマネージャの場合



■ログ解析結果画面

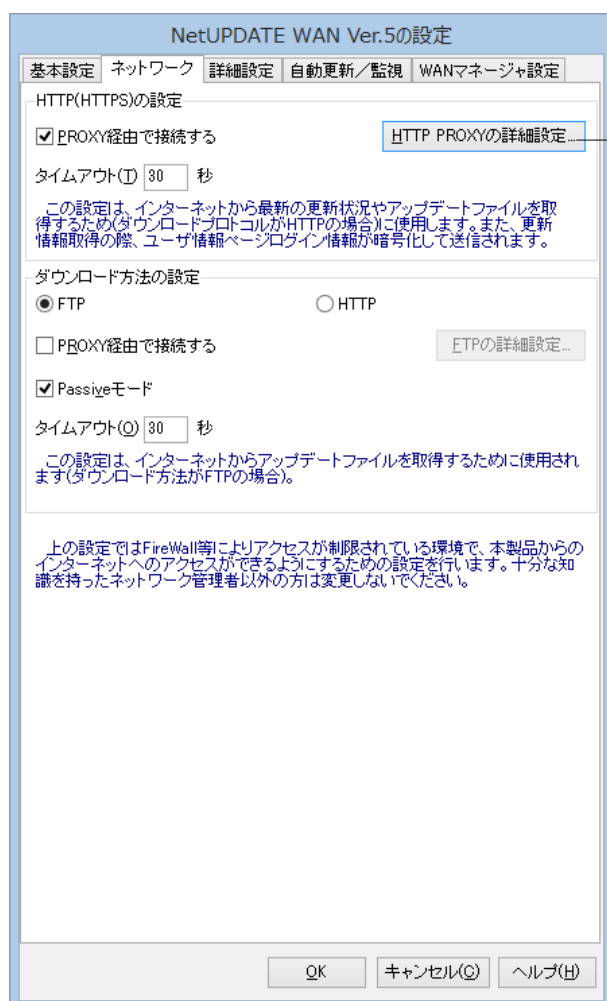
WAN対応ライセンスマネージャが取得したFORUM8製品起動情報のログを解析します。

NetUPDATEメイン画面、メインメニューのログ解析ツールをクリックする。

集計期間	選択された日付のログファイルを解析します。
集計方法	選択された方法でログファイルを集計します。
絞り込み条件	選択された条件に一致するデータのみ解析します。
レポート表示	解析結果をHTML形式で出力します。
閉じる	ログ解析画面を閉じます。

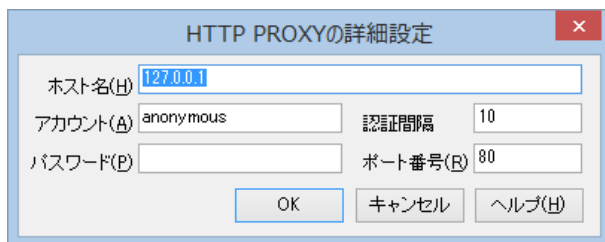
5 プロキシを経由する場合の通信設定

5-1 NetUPDATE、NetUPDATE WANの場合

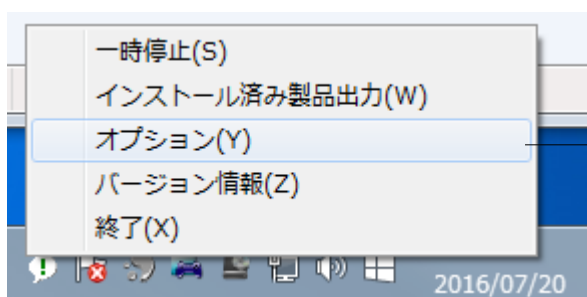


NetUPDATE又はNetUPDATE WANで設定画面でネットワークタブを選択し、HTTPの設定で「PROXY経由で接続する」にチェックを入れる。

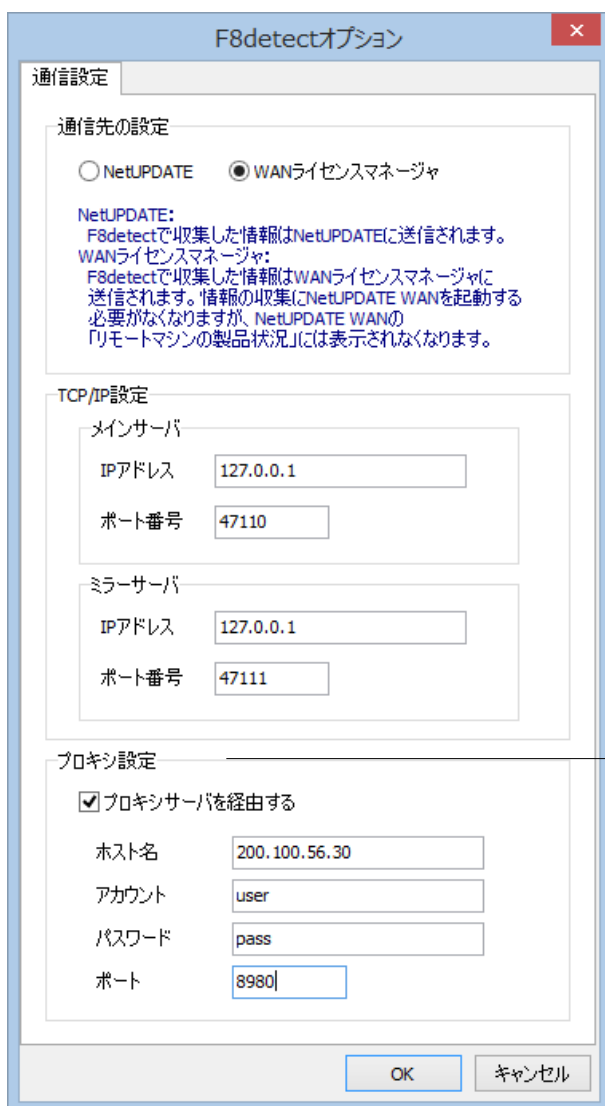
プロキシサーバのIPアドレス、ポート番号、ID、パスワードについては「HTTP PROXYの詳細設定」で指定します。



5-2 F8detectの場合



タスクバーの通知領域からF8Detectアイコンを選択し、ポップアップメニューの「オプション」を選択します。



プロキシ設定

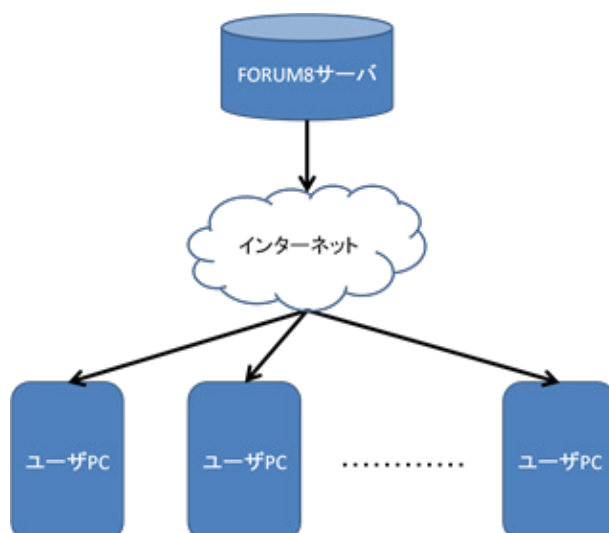
「プロキシサーバを経由する」をオンにして、プロキシサーバのホスト名(IPアドレス)、アカウント、パスワード、ポートを指定します。

6 インストール済製品の更新

既にインストールされているFORUM8製品を更新する方法としては、主に次の方法が挙げられます。

- ・インターネット経由でFORUM8サーバから更新ファイルを取得する方法
- ・社内に更新ファイルサーバを設置し、取得する方法

6-1 インターネット経由でFORUM8サーバから更新ファイルを取得する方法



各ユーザPCがFORUM8サーバから製品の更新ファイルをダウンロードし、更新するための環境構築手順を示します。

NetUPDATE Ver.5の設定

基本設定 | ネットワーク | 詳細設定 | 自動更新/監視

インストール済製品の検索
検索するドライブ(E)

ドライブ	メディア
☐ OS (C:)	ハードディスク
☐ DVD RW ドライブ (D:)	CD-ROM ドライブ

検索するフォルダ: C:\Program Files (x86)\FORUM 8\ ...

アップデートファイル
☐ インターネットよりダウンロードする(I)

☐ サーバモード
アカウント(ユーザ情報ページへのログイン情報と同じ)
管轄記号 ユーザコード(U) 99999
☒ I(東日本) ☐ Q(西日本) パスワード(P) ●●●●●●●●●●

ダウンロードファイルのアップデート後の処置
☐ 削除する(B)
☒ 指定の場所に保存する(S)
保存用フォルダ(A) \\SOU\U-DELL\Users\chiba\Desktop\Products Update\ ...
空き容量: 747871 MB(200MB以上を推奨)

☒ ダウンロード済みファイル(ローカルドライブ、LAN等)(D)

ファイルの格納場所
メイン Q:\ ...
ミラー Q:\ ...

作業用フォルダ(I)
C:\Users\chiba\AppData\Local\Temp\ ...
空き容量: 747871 MB(50MB以上を推奨)

OK キャンセル(C) ヘルプ(H)

環境設定

「アップデートファイル」の「インターネットよりダウンロードする」を選択します。
「アカウント」に「管轄記号」、「ユーザコード」、「パスワード」を入力します。

NetUPDATE WAN Ver.5の設定

基本設定 ネットワーク 詳細設定 自動更新/監視 WANマネージャ設定

HTTP(HTTPS)の設定

☒ PROXY経由で接続する [HTTP PROXYの詳細設定...](#)

タイムアウト(T) 秒

この設定は、インターネットから最新の更新状況やアップデートファイルを取得するため(ダウンロードプロトコルがHTTPの場合)に使用します。また、更新情報取得の際、ユーザ情報ページログイン情報が暗号化して送信されます。

ダウンロード方法の設定

☒ FTP ☐ HTTP

☐ PROXY経由で接続する [FTPの詳細設定...](#)

☒ Passiveモード

タイムアウト(Q) 秒

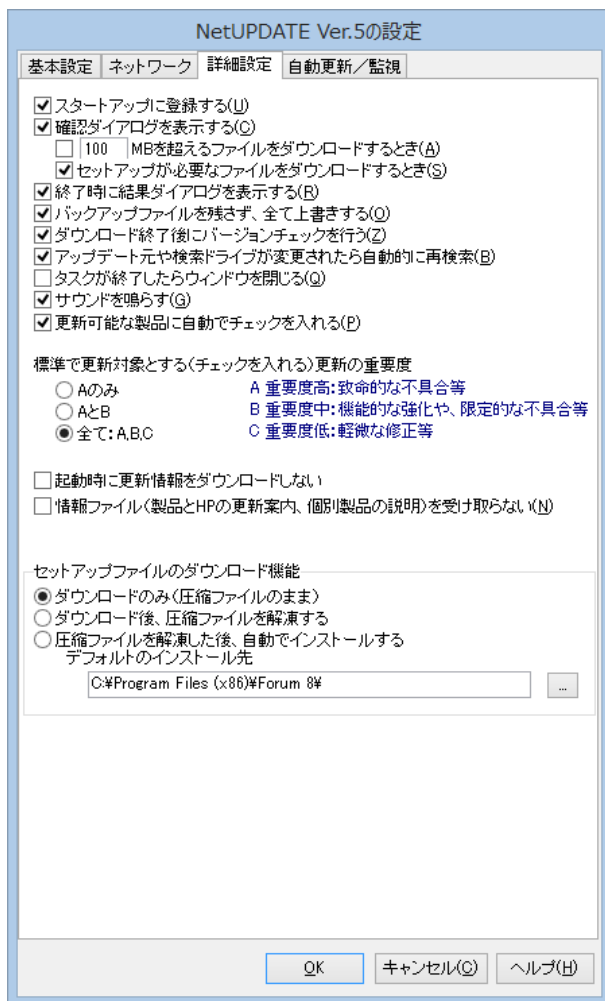
この設定は、インターネットからアップデートファイルを取得するために使用されます(ダウンロード方法がFTPの場合)。

上の設定ではFireWall等によりアクセスが制限されている環境で、本製品からのインターネットへのアクセスができるようにするための設定を行います。十分な知識を持ったネットワーク管理者以外の方は変更しないでください。

OK キャンセル(Q) ヘルプ(H)

「ダウンロード方法の設定」からファイルをダウンロードする際の通信プロトコルを選択します。

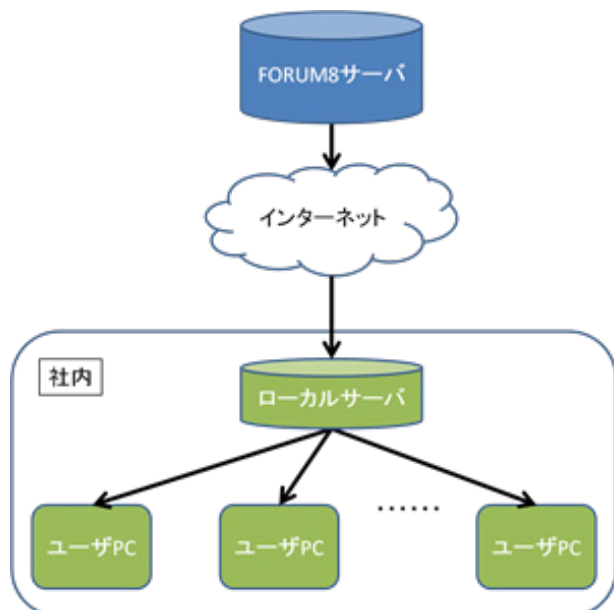
HTTP、FTPでプロキシを経由する場合は別途「プロキシを経由する場合の通信設定」をご確認ください。



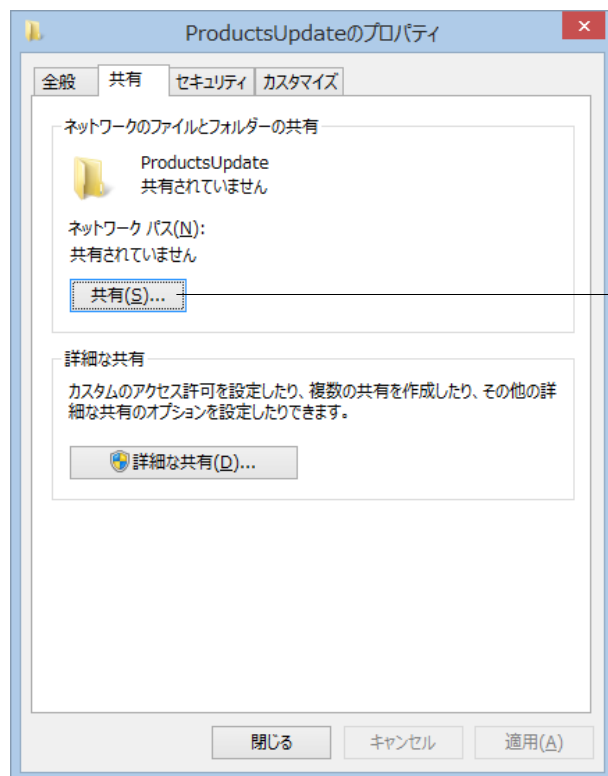
「セットアップファイルのダウンロード機能」から更新作業の挙動を選択します。

メニューバー「ファイル」-「アップデート開始」又はメイン画面右下の「アップデート開始」ボタンを押すと製品の更新を開始します。

6-2 社内に更新ファイルサーバを設置し、取得する方法



社内のローカルサーバに更新ファイルを取得し、社内PCが製品を更新するための環境構築手順を示します。



環境設定

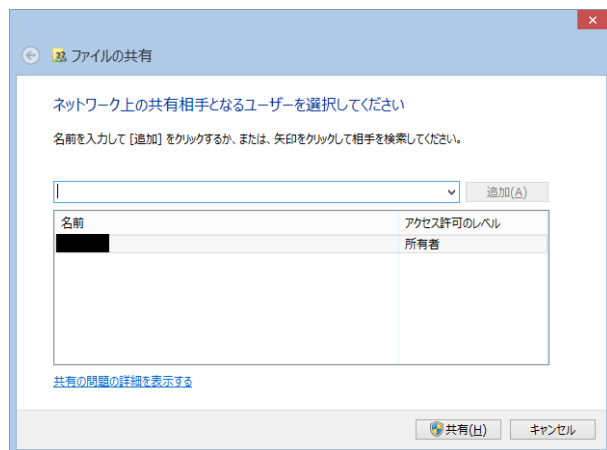
ローカルサーバの準備

例として図のローカルサーバのPC名を"Local-Srv"とします。

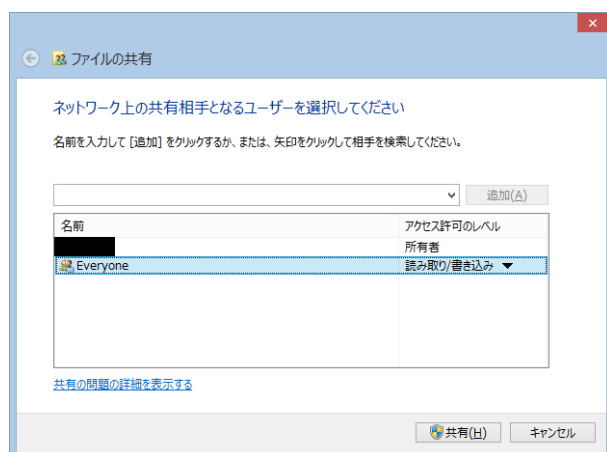
"Local-Srv"に更新ファイルを保存するための
"ProductsUpdate" フォルダを作成します。

"ProductsUpdate"フォルダアイコンを右クリックし、プロパティの共有タブを選択します。

「ネットワークのファイルとフォルダーの共有」の「共有」ボタンを押します。



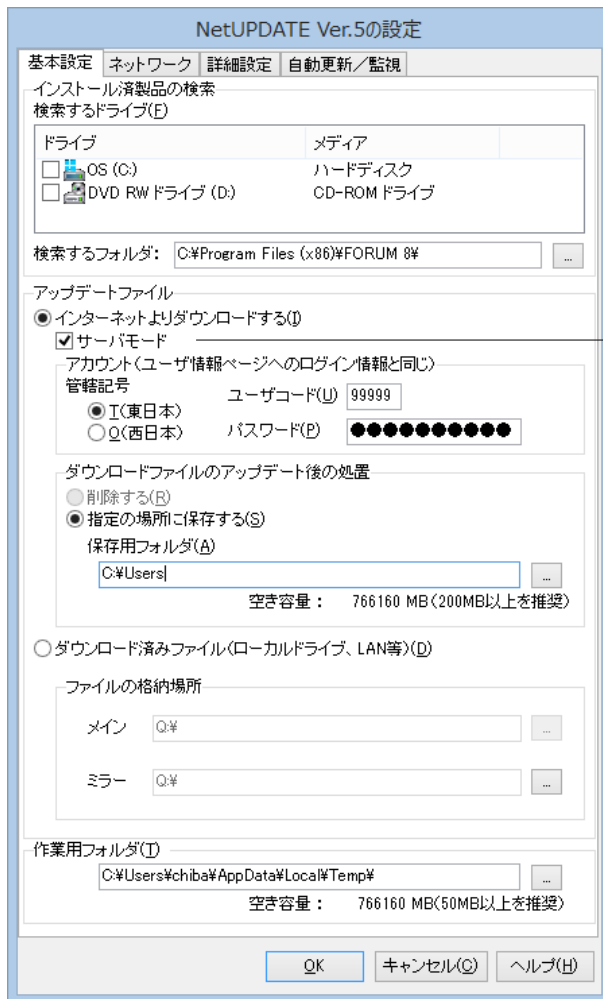
「ファイルの共有」ダイアログで「追加」ボタン横のドロップダウンリストから追加するユーザーを選択し、追加します。



このとき、「アクセス許可のレベル」は「読み取り/書き込み」を選択して下さい。

「共有」ボタンを押します。

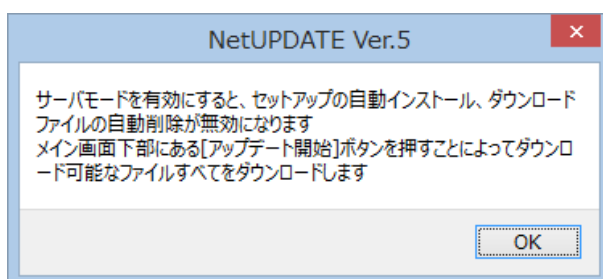
※“ProductsUpdate”フォルダのプロパティで表示される「ネットワークパス」に他のPCからアクセス可能か確認します。別のPCでエクスプローラーのアドレスバーに“ProductsUpdate”フォルダのネットワークパスを指定して、フォルダにアクセスできるか確認します。アクセスできない場合は、Windowsの「共有の詳細設定」をご確認ください。



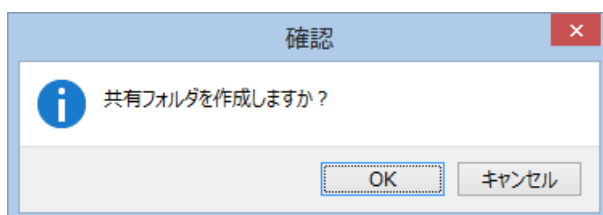
NetUPDATEのインストール(ローカルサーバ側)

NetUPDATE又はNetUPDATE WANのインストーラを起動し、インストーラの指示に従ってインストールを行います。NetUPDATE WANにおいてはWAN対応ライセンスマネージャの接続先を求められるが、使用しない場合は指定する必要はありません。

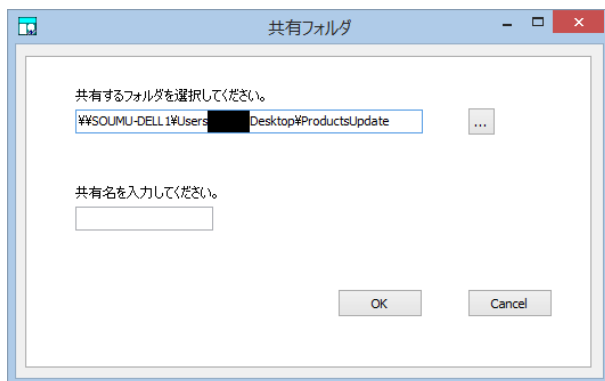
「環境設定」-「基本設定」タブの「アップデートファイル」から「インターネットよりダウンロードする」を選択し、「サーバモード」にチェックを入れます。



「サーバモード」にチェックを入れると、ダイアログが表示されるので、「OK」ボタンを押します。

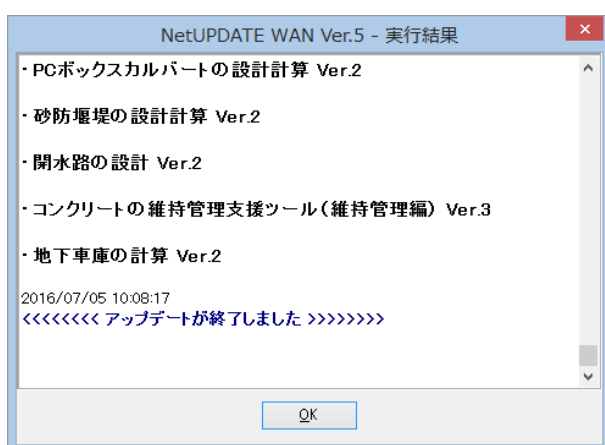


続けて表示されるダイアログも「OK」ボタンを押します。



次に、共有フォルダを指定するダイアログが表示されるので、“ProductsUpdate”フォルダを指定します。

「環境設定」を閉じ、アップデートを行います。
サーバモードでは製品の更新は行われず、“ProductsUpdate”フォルダに契約している製品の更新用のファイルが全てダウンロードされます。



ダウンロードが完了するとダイアログが表示されます。
ダイアログには各製品ファイルのダウンロード成否が表示されます。

もし、ダウンロードに失敗した製品がある場合は、再度アップデートを行う必要があります。

以上でローカルサーバ側の設定は完了となります。

NetUPDATE Ver.5の設定

基本設定 ネットワーク 詳細設定 自動更新/監視

インストール済製品の検索
検索するドライブ(E)

ドライブ	メディア
☐ OS (C:)	ハードディスク
☐ DVD RW ドライブ (D:)	CD-ROM ドライブ

検索するフォルダ: C:\Program Files (x86)\FORUM 8\ ...

アップデートファイル

☐ インターネットよりダウンロードする(I)

☐ サーバモード

アカウント(ユーザ情報ページへのログイン情報と同じ)

管轄記号 ユーザコード(U) 99999

☒ I(東日本) パスワード(P) ●●●●●●●●●●

☐ Q(西日本)

ダウンロードファイルのアップデート後の処置

☐ 削除する(R)

☒ 指定の場所に保存する(S)

保存用フォルダ(A)

\\SOUJIMU-DELL1\Users\chiba\Desktop\ProductsUpdate\ ...

空き容量: 752119 MB(200MB以上を推奨)

☒ ダウンロード済みファイル(ローカルドライブ、LAN等)(D)

ファイルの格納場所

メイン Q:\ ...

ミラー Q:\ ...

作業用フォルダ(I)

C:\Users\chiba\AppData\Local\Temp\ ...

空き容量: 752119 MB(50MB以上を推奨)

OK キャンセル(C) ヘルプ(H)

NetUPDTAEのインストール(クライアントPC側)

インストーラに従ってNetUPDATEのインストールを行います。

インストール完了後、「環境設定」-「基本情報」タブの「アップデートファイル」から「ダウンロード済みファイル(ローカルドライブ、LAN等)」を選択します。

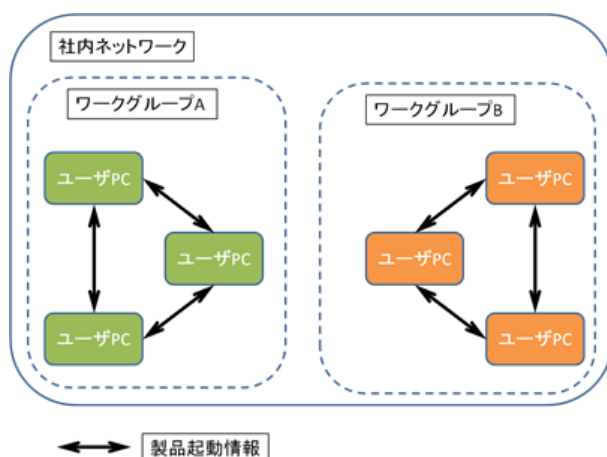
「ファイル格納場所」の「メイン」に“ProductsUpdate”フォルダのネットワークパスを直接指定します。

*右側ボタンで「フォルダー参照」ダイアログを表示させると、ネットワーク上のPCが上手く取得できない場合があります。

「OK」ボタンを押して、「環境設定」を終了します。

「インストール済製品」「ダウンロード可能製品」タブから更新したい製品のチェックボックスをオンにして、アップデートを開始することで、“ProductsUpdate”フォルダより更新ファイルをダウンロードし、更新が開始されます。

7 リモートマシンの製品状況



NetUPDATEはF8detectと連携することで、同一ネットワーク内のFORUM8製品起動状況を確認することが出来ます。(同一ネットワーク内且つ同一ワークグループ内)

7-1 環境構築

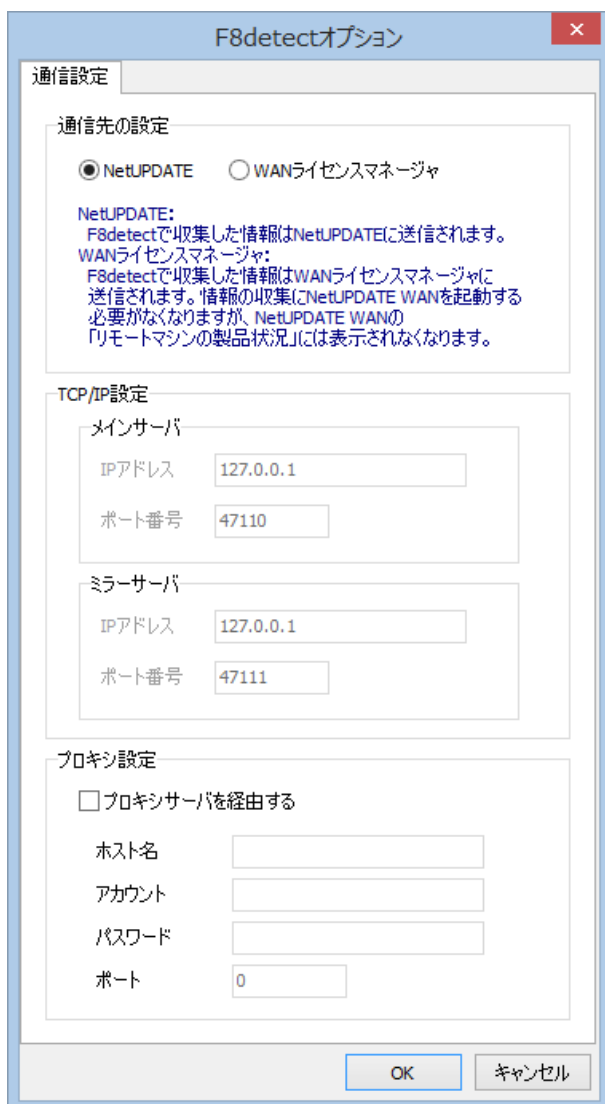


NetUPDATEのインストール

インストーラの手順に従ってインストールするだけで問題ありません。

F8detectの設定

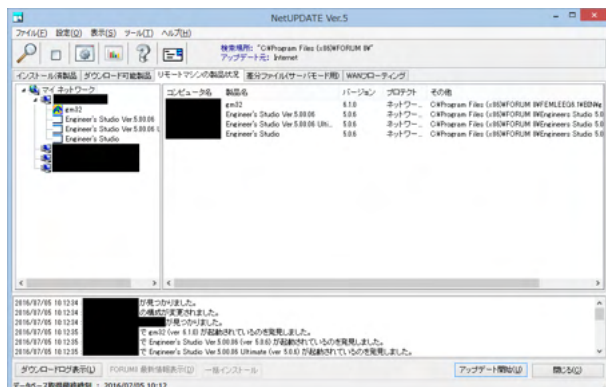
NetUPDATEをインストールすると同時にインストールされます。F8detectがインストールされ、起動している場合は、タスクバー右下にアイコンが表示されます。



アイコンを右クリックし、オプション画面を開きます。

「通信先の設定」で「NetUPDATE」が選択されていることを確認し、「OK」ボタンを押します。

7-2 製品の起動状況の確認



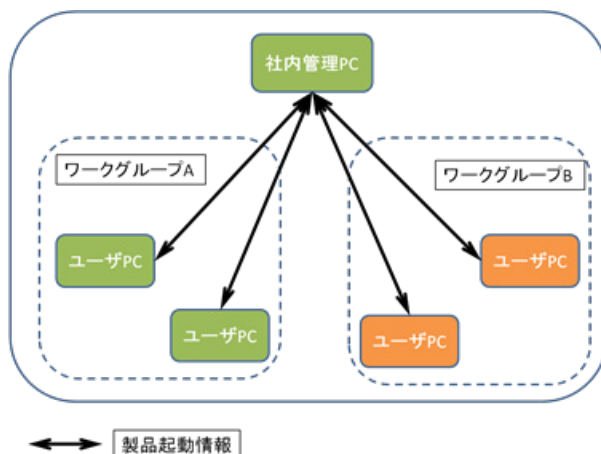
各PCでFORUM8製品を起動します。

NetUPDATEの「リモートマシンの製品状況」にネットワーク上で検出されたPC名と起動しているFORUM8製品名、バージョン、使用しているプロダクトの種類が表示されます。

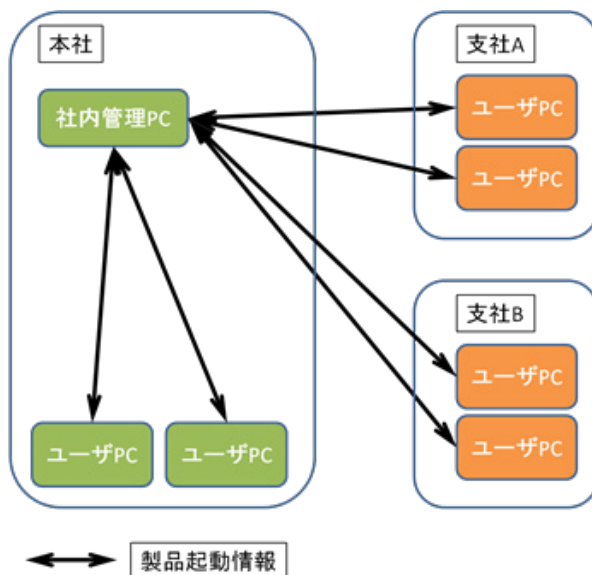
※このとき、NetUPDATEのインストールされたPCと同じLAN上で同じワークグループに存在するPCのみが表示されます。

ワークグループが異なる場合は、表示されません。

8 WAN上の製品状況



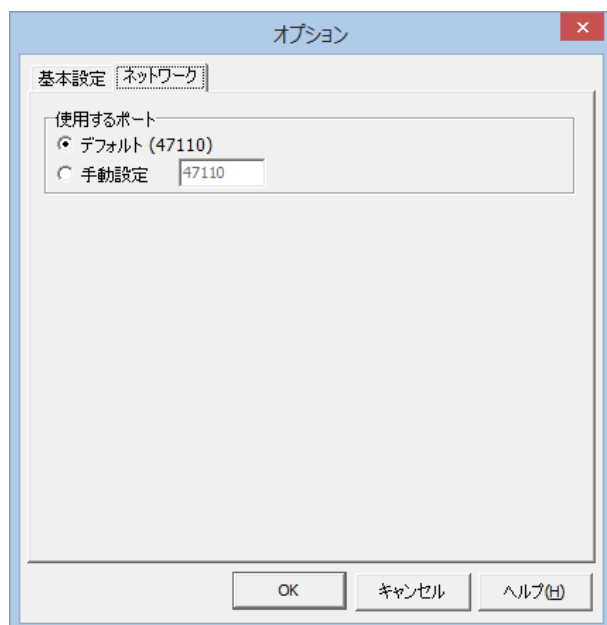
NetUPDATE WAN-WAN対応ライセンスマネージャ又は、F8detect-WAN対応ライセンスマネージャの組み合わせで、異なるワークグループの製品起動状況も確認することで出来ます。



また、同じ建物に限らず本社-支社間の製品起動状況を確認することも可能です。

8-1 環境設定

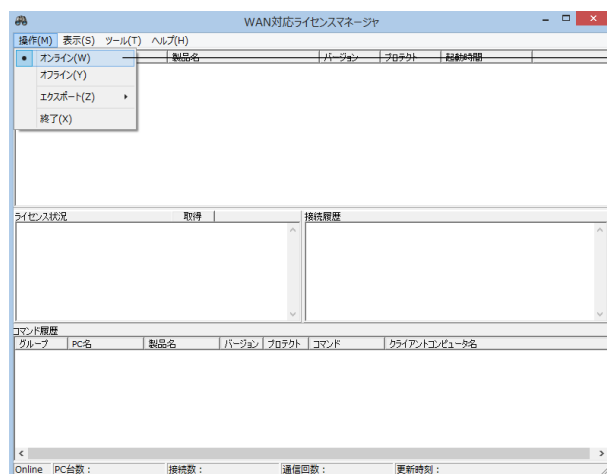
異なるワークグループ間、本社-支社間で製品の起動情報を確認するための環境設定は同じです。



WAN対応ライセンスマネージャ

インストーラにしたがってインストールを行います。
メニューバー「ツール」-「ネットワーク」の「使用するポート」でNetUPDATE WANとの通信に使用するポート番号を「デフォルト」、「手動設定」からを選択します。
「手動設定」を選択した場合は、右側に使用するポート番号を入力します。

「デフォルト」、「手動設定」のどちらを選択しても、通信に使用するポート番号が使えるように、社内システム管理者、もしくはWindowsファイアウォールの設定を適宜変更する必要があります。



メニューバー「操作」-「オンライン」を選択します。



NetUPDATE WANと接続する場合

インストーラに従ってインストールを行います。
NetUPDATE WANを初めてインストールした場合、もしくは環境クリアツール使用後にNetUPDATE WANを起動した場合は下図のようなダイアログが表示されます。

ここで、WAN対応ライセンスマネージャがインストールされたPCのIPアドレスと8-1環境設定のWAN対応ライセンスマネージャの項目で設定した指定したポート番号を入力してください。
ここで、指定しなくてもNetUPDATE WANの環境設定から指定、変更が可能です。

NetUPDATE WAN Ver.5の設定

基本設定 ネットワーク 詳細設定 自動更新/監視 WANマネージャ設定

WAN対応ライセンスマネージャ通信設定

メイン

IPアドレス 127.0.0.1

ポート番号 47110

ミラー

IPアドレス 127.0.0.1

ポート番号 47110

☒ プログラム起動時に、WANライセンスマネージャに自動的に接続する。

自動更新機能

☒ 自動更新機能を有効にする

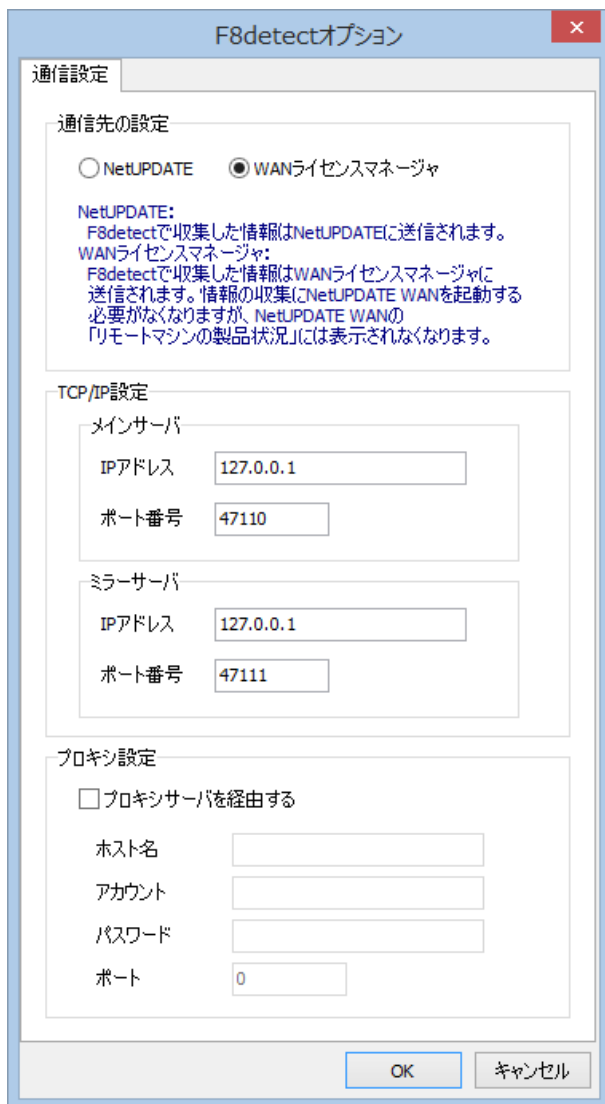
更新間隔 30 秒

OK キャンセル(C) ヘルプ(H)

既にNetUPDATE WANをインストールしている場合は、「環境変数」-「WANマネージャ設定」タブを選択します。「WAN対応ライセンスマネージャ通信設定」-「メイン」の「IPアドレス」、「ポート番号」にWAN対応ライセンスマネージャのインストールされたPCのIPアドレスとポート番号を入力します。

※F8detetcの通信先はNetUPDATEを選択します。

※「ミラーサーバ」の項目については予備サーバ等にWAN対応ライセンスマネージャがインストールされている場合に使用します。



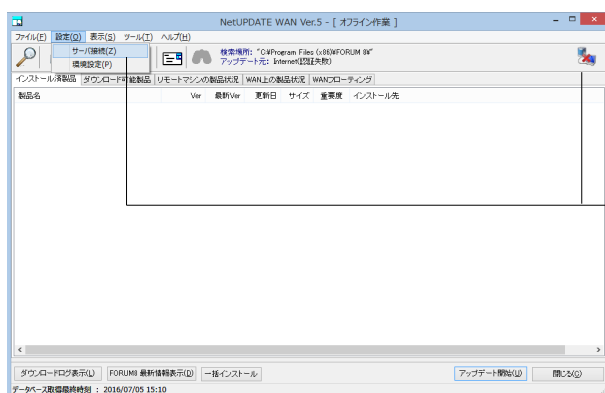
F8detectと通信する場合

F8detectのオプション画面を開き、「通信先の設定」で「WANライセンスマネージャ」を選択します。

次に、「TCP/IP設定」-「メインサーバ」の「IPアドレス」、「ポート番号」にWAN対応ライセンスマネージャのインストールされたPCのIPアドレスと8.1.1で設定したポート番号を入力します。

*「ミラーサーバ」の項目については予備サーバ等にWAN対応ライセンスマネージャがインストールされている場合に使用します。

8-2 製品起動状況の確認



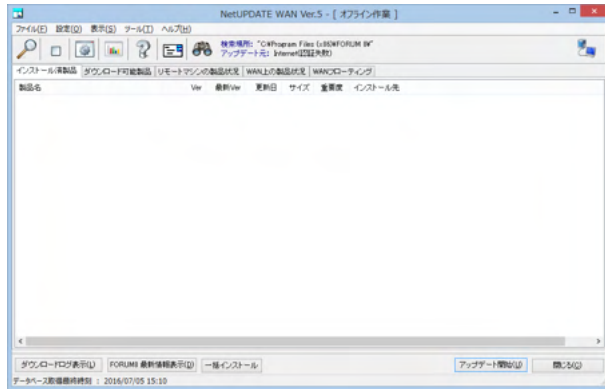
NetUPDATE WANと接続する場合

WAN対応ライセンスマネージャ、NetUPDATE WAN、F8detectが起動していることを確認します。

WAN対応ライセンスマネージャをオンラインにします。

NetUPDATE WANの右上のアイコン をダブルクリックするか、メニューバー「設定」-「サーバ接続」を選択します。

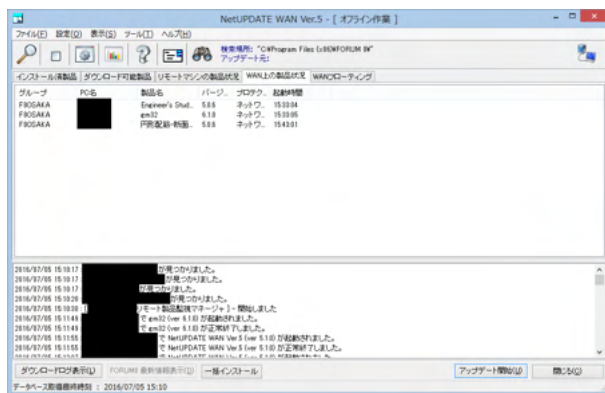
第2章 操作ガイドンス



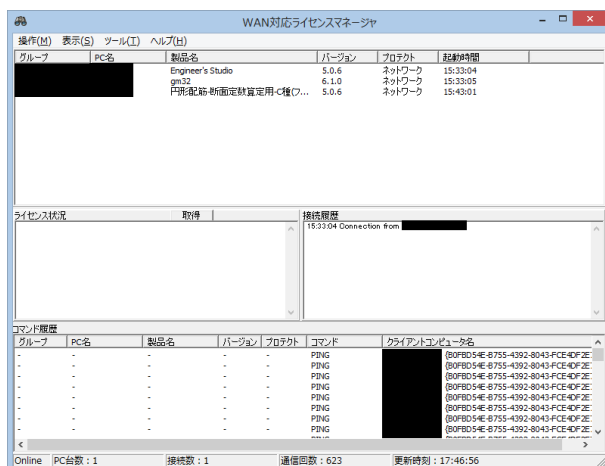
WAN対応ライセンスマネージャとの接続が成功するとアイコンが変化します。

F8detectと通信する場合

アイコンを右クリックし、「開始」を選択します。



NetUPDATE WAN、WAN対応ライセンスマネージャの製品状況の表示例は左図のようになります。



第3章 Q&A

1 適用範囲

2 操作及び対策

Q2-1 アップデートにインターネットを指定すると、ダウンロードできない。

A2-1 アップデート元をインターネットにした場合は、NetUPDATE起動時にインターネットに接続されている必要があります。自動更新機能を使う場合は、スケジューラなどで事前に自動的に接続処理を行うようにして下さい。

PROXYサーバを使用している場合は、PROXYの設定を行う必要があります。
設定方法はQ4-6. をご参照ください。

Q2-2 NetUPDATEを起動しても「インストール済製品」に何も表示されない

A2-2 考えられる原因は以下の通りです。

(1) 検索するドライブ、フォルダが指定されていない

NetUPDATEメニューの「設定」-「環境設定」-「基本設定」タブの「検索するドライブ」または「検索するフォルダ」が設定されているかご確認ください。

(2) 検索するドライブ、フォルダに弊社製品がインストールされていない

「検索するドライブ」、「検索するフォルダ」に設定されているフォルダ内に弊社製品がインストールされているかご確認ください。

(3) アップデート元のドライブの指定が間違っている

ローカルファイルからアップデートを行う設定になっている場合、「ファイルの格納場所」の設定に誤りがないかご確認ください。

(4) PROXYサーバの設定が間違っている

PROXYの設定に誤りがないかご確認ください。PROXYの設定方法はQ4-6. をご参照下さい。

(5) 未対応のPROXYサーバを使用している

以下のPROXYサーバには未対応となっております。

- ・data connectionを自動で確立できない(※注)
- ・BASIC認証以外の認証方法を使用している

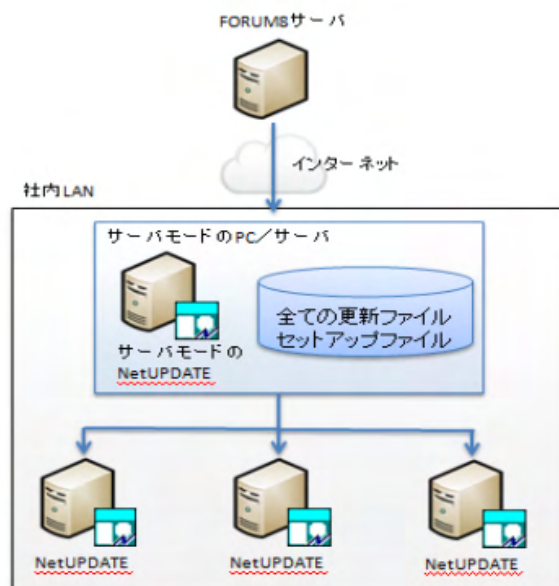
社内にPROXYサーバを置いている場合は、PROXYサーバに(インターネットに直接接続できるマシン)にNetUPDATEをインストールし、その他のマシンはそこで取得したファイルを使用してアップデートを行うことが可能です。設定方法はQ2-3. をご参照ください。

(※注)・・・システム管理者の方へ

telnetでftpにログイン後、適当なファイルをダウンロードしようとしたときに「Can't establish data connection」という旨のメッセージが表示されるPROXYサーバは、data connectionを自動で確立できていません。PROXYサーバを変更するか、PROXY外で動作させるようにして下さい。

Q2-3 NetUPDATEを使用し他のマシンでダウンロードしたプログラムファイルを利用する方法

A2-3 サーバモード設定を有効にすると、他のマシンでダウンロードしたプログラムファイルを利用することができます。



■サーバモード設定方法

1. NetUPDATEメニューの「設定」-「環境設定」-「基本設定」タブの「サーバモード」にチェックを付ける
2. 「保存用フォルダ」に他のNetUPDATEからアクセスできるフォルダ(共有フォルダ等)を指定する
3. NetUPDATEメインフォームの「アップデート開始」をクリックして更新ファイルを取得する

※サーバモードが有効になっている場合、NetUPDATEで取得できる全ての更新ファイルをダウンロードします

■クライアント側設定方法

1. NetUPDATEメニューの「設定」-「環境設定」-「基本設定」タブ-「アップデートファイル」の設定で「ダウンロード済ファイル(ローカルドライブ、LAN等)」を選択する
2. 「ファイルの格納場所」に「■サーバモード設定方法 手順2」で指定したフォルダを入力する

Q2-4 ※データベースファイルの取得に失敗しました。設定に誤りがあるか、サーバーが混雑しています。設定を見直すか、時間を置いて再度実行して下さい。とのメッセージがでる

A2-4 インターネットに接続されているかご確認下さい。
PROXYサーバを使用している場合は、PROXYの設定に誤りがないかご確認下さい。
PROXYの設定方法はQ4-6. をご参照下さい。

サイトが混雑しており接続できない場合にもこのメッセージの表示となりますので、再度時間をずらしてNetUPDATEを起動して下さい。以上の作業によっても改善されない場合には、お手数ですがサポート窓口まで詳しい状況をお書き添えの上お問い合わせ下さい。

Q2-5 NetUPDATEを使用して、最新版製品をインストールする方法

A2-5 下記の「環境設定」を行った後、「製品のインストール」を行うと自動的に製品がインストールされます。「環境設定」で設定した内容は、プログラムに保存されますので2回目以降は「製品のインストール」のみ行って下さい。一部製品は自動インストールには対応しておらず、手動のインストール画面が表示されます。インストール画面が表示された場合は画面の表示に従ってインストールを行って下さい。

■環境設定

- 1.NetUPDATEメニューの「設定」-「環境設定」-「詳細設定」タブを開く
- 2.「セットアップファイルのダウンロード機能」で「圧縮ファイルを解凍した後、自動でインストールする」を選択
- 3.「デフォルトのインストール先」を指定する
- 4.「OK」ボタンをクリックして環境設定ダイアログを閉じる

■製品のインストール

- 1.「ダウンロード可能製品」タブでインストールしたい製品を選択する(複数選択可)
- 2.「アップデート開始」ボタンをクリックする

Q2-6 リモートマシンでの使用状況のみを確認したい場合。

A2-6 以下の設定を行うことで、起動時間が短縮され、各マシン上での起動情報を早く確認することができます。

- 1.NetUPDATEメニューの「設定」-「環境設定」-「詳細設定」タブを開く
- 2.「起動時に更新情報をダウンロードしない」、「情報ファイル(製品とHPの更新案内、個別製品の説明)を受け取らない」の2つをチェックする
- 3.「OK」ボタンをクリックして環境設定ダイアログを閉じる

Q2-7 NetUPDATEサブスクリプション版移行後の初回起動時の設定について

A2-7 旧版からアップデートして頂いた場合、NetUPDATEの環境設定は一部を除き、引き継がれます。ユーザID、パスワード、管轄記号については初期化されますので、再度入力して頂く必要があります。

Q2-8 WAN対応ライセンスマネージャサブスクリプション版とプロテクトキーについて

A2-8 WAN対応ライセンスマネージャ旧版では、NetPro、MultiPro等のUSBキーが接続されたPCにインストール頂いておりましたが、SS版に移行するに当たって、WAN対応ライセンスマネージャのインストール先はUSBキーに依存しなくなりました。お客様の環境において、ネットワーク内の製品起動状況を監視するに適したPCにインストールしていただくことで、NetUPDATE WANと連携し製品の起動状況を確認頂けます。

Q2-9 製品の起動ログ収集と確認方法は？

A2-9 製品の起動ログはWAN対応ライセンスマネージャとNetUPDATE(NetUPDATE WAN)で収集できます。

パターン1:「WAN対応ライセンスマネージャ」と「F8detect」の組み合わせで使う場合。

- 1: サーバPCに「WAN対応ライセンスマネージャ」、各クライアントPCに「F8detect」をインストールします。
- 2: 「WAN対応ライセンスマネージャ」と「F8detect」を接続します。
*接続方法はヘルプ「F8detectの設定」をご確認ください。
- 3: クライアントPCで製品を起動すると「WAN対応ライセンスマネージャ」に起動した製品名が表示されます。
- 4: クライアントPCで製品を終了するとログに記録されます。
- 5: 「WAN対応ライセンスマネージャ」のメニューバー「ツール」-「ログ解析ツール」を選択すると、製品起動ログが確認できます。

パターン2: 「NetUPDATE」と「F8detect」の組み合わせで使う場合。

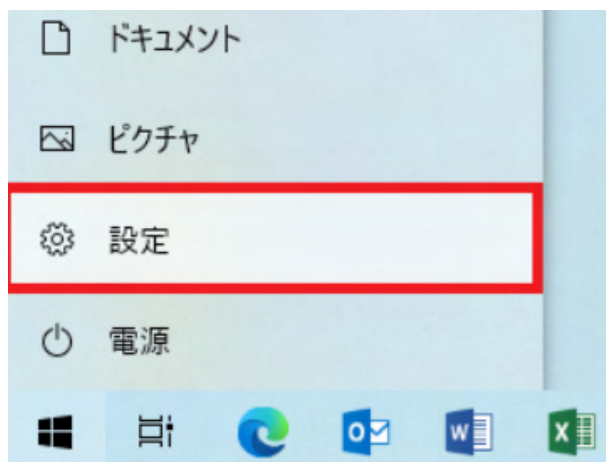
*NetUPDATE WANでも同様です

- 1: サーバPCに「NetUPDATE」、各クライアントPCに「F8detect」をインストールします。
- 2: 「NetUPDATE」と「F8detect」を接続します。
*接続方法はヘルプ「F8detectの設定」をご確認ください。
- 3: クライアントPCで製品を起動すると「リモートマシンの製品状況」タブに起動した製品名が表示されます。
- 4: クライアントPCで製品を終了するとログに記録されます。
- 5: 「NetUPDATE」のメニューバー「ツール」-「ログ解析ツール」を選択すると、製品起動ログが確認できます。
*パターン2の場合、ログ取得可能なPCは同一ワークグループ内のPCに制限されます。

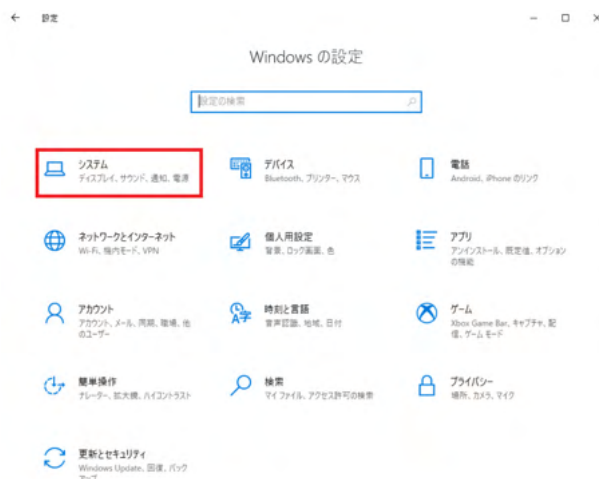
- Q2-10** NetUPDATEからUC-win/Roadをインストールすることが出来ない。
- A2-10** 現時点ではNetUPDATEからUC-win/Roadなど、インストーラのファイルサイズが約2GBを超える製品のインストールに対応しておりません。
お手数をお掛けいたしますが、インストール不可製品はユーザ情報ページよりダウンロード、インストールをお願いいたします。
※ユーザ情報ページにログインするにはユーザIDとパスワードの入力が必要です。
- Q2-11** NetUPDATE(WAN)Ver5.3.2において、一度に複数製品をインストールする作業を繰り返すと、稀にデフォルトインストール先(C:\Program Files (x86)\FORUM 8)以外にインストールされることがある。
- A2-11** デフォルトインストール先または、環境設定画面で設定したインストール先以外に製品がインストールされた場合は、対象の製品をアンインストール後、再度製品のインストールを行って下さい。

※ご不便をおかけして申し訳ございませんが、この現象については現在、原因を調査中です。
- Q2-12** NetUPDATE(NetUPDATE WAN)、WAN対応ライセンスマネージャ、F8detectを起動した状態でもフォーラムエイト製品の起動情報が確認できないのですが、どうしたらいいでしょうか。
- A2-12** フォーラムエイト製品の起動状況を確認するためには、NetUPDATE(NetUPDATE WAN)、WAN対応ライセンスマネージャ、F8detectの準備完了後に起動してください。
準備完了前に起動しても、正しく起動情報を取得できません。
- Q2-13** 製品起動後、タスクバー、タスクマネージャにNetUPDATEは表示されるがメイン画面が表示れない。
- A2-13** お客様の環境で、ディスプレイ表示を拡大縮小する又はディスプレイの解像度を推奨値以外に設定しているかご確認をお願い致します。
ディスプレイ表示に関する設定は下記手順にて確認可能です。

1.Windows10のスタートメニューから「設定」を選択します。



2.設定画面の一覧から「システム」を選択して、左側の一覧から「ディスプレイ」を選択します。

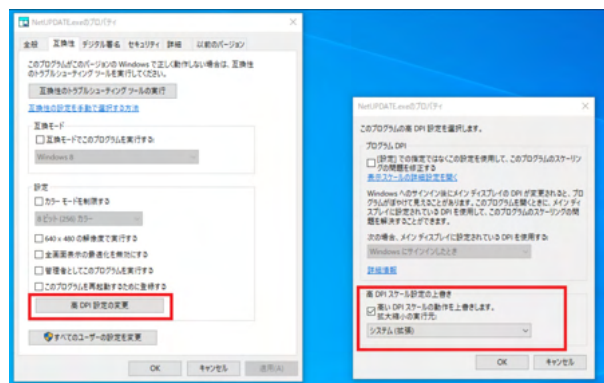


3.右側一覧で「拡大/縮小」が100%、「ディスプレイの解像度」はハードウェアの規格に合っていることを確認します。



もし、「拡大/縮小」が100%以外、「ディスプレイの解像度」がハードウェアの規格以外の値に設定されている場合は下記手順をご確認ください。

- 1.既にNetUPDATEが起動している場合はタスクマネージャから終了します。
- 2.NetUPDATEのインストール先フォルダを開き、「NetUPDATE.exe」の右クリックメニューから「プロパティ」を選択します。
- 3.「互換性」タブの「高DPI設定の変更」を選択して、「高いDPIスケールの動作を上書きします」にチェックを入れ「システム(拡張)」を選択します。



- 4.NetUPDATEを起動して、動作するか確認します。
- ※NetUPDATE WAN、WAN対応ライセンスマネージャも同様です。

Q2-14 一部インストール済み製品が「インストール済製品」タブに表示されない。

A2-14 一部製品は64bit版製品を提供しております。
そのため、検索設定で64bit版のインストール先が指定されていない場合、インストールが完了しても、NetUPDATE上に表示されません。
メニューバー「設定」-「環境設定」を開き、「基本設定」の「検索/パス設定」から検索/パスの追加をお願い致します。
※デフォルトの64bit版インストール先は以下の通りです。
C:\Program Files\FORUM 8

3 表示、メッセージ

Q3-1 新しい製品をインストールしたが、NetUPDATEを起動しても表示されない。

A3-1 NetUPDATEは高速な検索を実現するために独自のキャッシュ機能を用いて検索を行っています。
新たにインストールされた製品は、このキャッシュの中にデータが存在しないために検索されません。
メニューより手動で「再検索」を行うことにより、キャッシュが再構築され、検出されるようになります。

※新しく製品インストールを行った場合は必ず手動で再検索を行うようにして下さい。

Q3-2 「差分ファイルが異常です。この製品は更新に失敗しました。(CRCエラー)」とメッセージがでる。

A3-2 考えられる原因は以下の通りです。

- (1)インターネットに接続できない
インターネットに接続できるかご確認ください。
PROXYサーバを使用している場合は、PROXYの設定に誤りがないかご確認ください。
PROXYの設定方法はQ4-6. をご参照下さい。
- (2)ネットワークの状況により、差分ファイルダウンロード中にファイルが破損した
ネットワークの状況により、ファイルが正常に取得できないことがあります。
時間をおいて再度アップデートを行って下さい。
- (3)インターネット接続環境の制約
お客様のインターネット接続環境の制約が原因で発生していることも考えられますので、
一度社内のネットワークの管理者にご確認ください。

Q3-3 製品のチェックボックスに『-』がついて、選択することが出来ない。

A3-3 画面上のチェックボックス□部に「-」がつく場合、

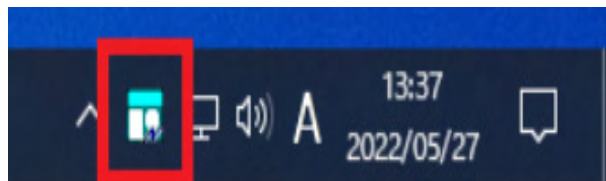
- ①製品が既に最新版である。
- ②製品が最低バージョンを満たしていない、もしくは更新用の差分ファイルの提供がない為、NetUPDATEでのバージョンアップができない。

事を意味しております。製品名をクリックすると、詳細内容を下部ウィンドウに表示いたしますのでご確認ください。
チェックボックスに「-」が入っている場合でも、「ダウンロード可能製品タブ」にて選択して頂くことで、ダウンロード、アップデートが可能になっております。

Q3-4 「このプログラムは複数を同時起動できません」というエラーメッセージが表示され、起動することができない。

A3-4 下記手順を参考にNetUPDATEが常駐起動していないかご確認ください。

手順1.「NetUPDATE常駐アイコン」をタスクバーから探してください。



手順2.アイコンを右クリックして「開く」を選択すると、NetUPDATEが表示されます。

手順3.常駐起動設定を解除する場合はNetUPDATE設定画面の「自動更新/監視」タブを開き、「常駐を行なう」のチェックを外してください。

「NetUPDATE常駐アイコン」が表示されない場合は、プロセスの確認と終了を行なって頂けますでしょうか。

手順1.Windowsタスクマネージャのプロセスタブを選択して、一覧から「NetUPDATE」を選択する。

手順2.「NetUPDATE」を右クリックして、「タスクの終了」を選択する。

手順3.プロセスタブに「NetUPDATE」が無いことを確認して、再度NetUPDATEを起動する。

※NetUPDATE WANも同様です。

Q3-5 各製品の32bit版、64bit版を選択してインストールすることができない。

A3-5 NetUPDATEでインストールを行う製品は原則32bit版となります。(一部例外あり)

64bit版の製品については、ユーザ情報ページよりインストーラをダウンロードして頂き、手動でのインストールをお願い致します。

ユーザ情報ページ

URL : <https://www2.forum8.co.jp/scripts/f8uinf.dll/login>

なお、32bit版、64bit版をNetUPDATE上から選択してインストール、更新するための機能追加は今後、対応を検討して参ります。

4 その他

Q4-1 SOCKSサーバー経由でインターネットに接続しているが、NetUpdateは利用可能か

A4-1 残念ながらNetUPDATEはSOCKSサーバに対応しておりません。その為、接続はできないと思われます。

Q4-2 NetUPDATE起動時に、F8detectを起動しないようにするには

A4-2 NetUPDATEメニューの「設定」-「環境設定」-「自動更新／監視」タブの「NetUPDATE起動時にF8detectを起動しない」にチェックを入れてください。

なお、既にF8detectが起動している場合は、タスクトレイのアイコンを右クリックしてF8detectを終了させて下さい。

Q4-3 NetUPDATE自体を自動更新できない

A4-3 更新機能についてはVer5より削除されました。

お手数をお掛けいたしますが、「コントロールパネル」-「アプリケーションの追加と削除」にてご利用のバージョンを削除していただき、弊社ホームページより最新バージョンを直接ダウンロード・再インストール下さい。

Q4-4 インターネットを終えたとき、F8detectがエラーを出すことがある

A4-4 F8detectはNetUPDATEの「リモートマシンの製品状況」に利用される情報を発信しており、ネットワークの接続が遮断されるとエラーを表示します。

スタンドアロンで使用される場合は必要ありませんので、この機能はOFFにしてください。機能をOFFにするには、「設定」-「環境設定」の「一般(2)」タブにて、「F8detectを常駐しない」にチェックをつけてください。

Q4-5 F8detectとは何か

A4-5 F8detectは、同一ネットワーク上のマシンで稼動している製品の情報をNetUPDATEに送信する、ライセンス状況監視の支援プログラムです。ライセンス状況は、NetUPDATEの「リモートマシンの製品状況」にて確認していただけます。

Q4-6 プロキシサーバを経由したい

A4-6 通信プロトコルにより、設定方法が異なります。

■HTTP

- 1.NetUPDATEメニューの「設定」-「環境設定」-「ネットワーク」タブを開く
- 2.「HTTP(HTTPS)の設定」の「PROXY経由で接続する」をチェックする
- 3.「HTTP PROXYの詳細設定」ボタンをクリックする
- 4.表示されたダイアログに必要な情報を入力した後、「OK」ボタンをクリックしてダイアログを閉じる
- 5.「OK」ボタンをクリックして設定画面を閉じる

■FTP

- 1.NetUPDATEメニューの「設定」-「環境設定」-「ネットワーク」タブを開く
- 2.「ダウンロード方法の設定」の「PROXY経由で接続する」をチェックする
- 3.「FTPの詳細設定」ボタンをクリックする
- 4.表示されたダイアログに必要な情報を入力した後、「OK」ボタンをクリックしてダイアログを閉じる
- 5.「OK」ボタンをクリックして設定画面を閉じる

※HTTP、FTPともにBasic認証にのみ対応しております。
その他の認証方法には対応しておりません。ご了承下さい。

Q4-7 使用中の製品状況を確認する方法は？

A4-7 NetUPDATEのサブスクリプションをご契約のお客様は、ユーザ情報ページの「ライセンス情報」から各製品の「サブスクリプションシリアルコード」-「使用状況」を選択すると、「ライセンスの使用状況」ダイアログで当該シリアルコードの使用状況を確認することが可能です。
また、製品にフローティングオプションが付いている場合は、「開放」ボタンより当該ライセンスの開放を行なえます。

Q4-8 WindowsServer2019上でNetUPDATEの「リモートマシンの製品状況」からPC名が消えてしまう

A4-8 WindowsServer2019上でNetUPDATE(NetUPDATE WAN)、クライアントPCでF8detectを起動している場合、「60秒間応答が無かったため、(PC名)はリストから消去されました。」と表示され、製品の起動状況が確認出来ない状態になることがあります。
この場合は、WindowsServer2019上でも、NetUPDATE(NetUPDATE WAN)と合わせて、F8detectを起動させてください。
このとき、F8detectの接続先は「NetUPDTAE」を選択して、F8detectとNetUPDATEを接続してください。

Q4-9 クライアントPCにF8detectのみをインストールするには？

A4-9 ユーザ情報ページ-「ダウンロード」タブの最下部に「ユーザ様 無料ダウンロード製品」の一覧がございます。
この一覧の「NetUPDATE F8detect Ver.5」よりF8detectの単体インストーラを取得可能です。

※Q&Aはホームページ (<http://www.forum8.co.jp/faq/netupdate.htm>) にも掲載しております。

NetUPDATE Ver.5 操作ガイドンス

2024年 9月 第5版

発行元 株式会社フォーラムエイト

〒108-6021 東京都港区港南2-15-1 品川インターシティA棟21F

TEL 03-6894-1888

禁複製

お問い合わせについて

本製品及び本書について、ご不明な点がございましたら、弊社、「サポート窓口」へお問い合わせ下さい。

なお、ホームページでは、Q&Aを掲載しております。こちらもご利用下さい。

<https://www.forum8.co.jp/faq/qa-index.htm>

ホームページ www.forum8.co.jp

サポート窓口 ic@forum8.co.jp

FAX 0985-55-3027

NetUPDATE Ver.5

操作ガイドンス

www.forum8.co.jp

